土木学会関東支部 第58回支部総会
次　　第

日　時：　2021年5月19日（水）14：00～15：30

場　所：　土木学会講堂及びオンライン

◆特別講演

講師：土木学会次期会長 谷口博昭 氏

題目：「今、転換の時。土木のビックピクチャーを

～開かれた魅力溢れる土木学会へ～」

◆議事

【報告事項】

１．2020年度事業報告及び決算報告

２．2021年度商議員及び監査役

３．2021年度事業計画及び予算

４．令和3年度全国大会準備状況

５．インフラパートナー制度

６．関東支部山梨会の会則改定

７．第22回「土木のある風景」写真コンテスト入賞作品

◆2020年度関東支部事業報告

（2020年4月1日～2021年3月31日）

１．第57回支部総会（2020年5月7日～14日）Web開催　委任状　108名

—決議事項—

（1）2019年度事業報告および決算報告

（2）関東支部規程の改正

（3）令和2年度支部長候補者

（4）商議員および監査役の選任

（5）令和3年度土木学会全国大会実行委員会の立上げ

—報告事項—

（1）令和2年度事業計画および予算

（2）土木学会関東支部就業規則等の改正

（3）土木学会関東支部分会会則の改正

（4）令和2年度支部役員（幹事長・副幹事長・幹事）

（5）令和3年度全国大会準備状況

（6）建設技術展2020関東への協賛について

２．会議等

（1）商議員会（支部長、商議員、幹事長、副幹事長）関東支部及びオンライン会議　出席者（委任状を含む）48名

第1回　2021.2.4　＜決議事項＞

① 2020年度事業報告及び決算（見込み）

② 2021年事業計画及び予算

③ 土木学会関東支部山梨会の会則改正

④ 支部商議員及び本部役員候補者選考委員会の選任方法

＜報告事項＞

① 令和3年度土木学会全国大会の準備状況

② 関東支部幹事長の交代

③ その他

第2回　2021.4.14 メール審議

＜決算事項＞

① 2021年度事・2022年度関東支部商議員・監査役

（2）全体幹事会（全幹事）1回　出席者46名

第1回　2020.7.3　土木学会AB会議室およびオンライン会議

① 支部長挨拶

② 自己紹介

③ 報告事項

・関東支部規程の改定

・令和３年度土木学会全国大会準備状況

・建設技術展 2020 関東への協賛

④　コロナ禍を踏まえた今後の活動について（意見交換）

(3) 運営幹事会（支部長、幹事長、副幹事長、主査、副主査、各分会幹事）2 回　　出席者延べ 37 名

第 1 回　2020.4.20～24 Web 会議

①　2019 年度事業報告（各部会・委員会・分会）

②　コロナウイルス考慮の事業計画

③　カヌー大会開催について

④　全国大会実行委員会の設置について

⑤　商議員会報告

⑥　全国大会準備状況

⑦　建設技術展 2020 関東への協賛について

第 2 回　2021.1.12　関東支部およびオンライン会議

①　2020 年度事業報告及び 2021 年度事業計画（各部会・委員会・分会）

②　国土交通省北陸地方整備局との災害協定（新潟会）

③　土木学会全国大会準備状況

④　支部商議員及び本部役員候補者選考委員の選任方法

⑤　関東支部幹事長の交代

(4) 企画部会　　1 回　　出席者 19 名

第 1 回　2020.10.1　土木学会講堂およびオンライン会議

①　コロナ禍における活動について

②　令和２年度全国大会報告

③　令和３年度全国大会準備報告

(5) 技術情報部会　　7 回　　出席者延べ 67 名

第 1 回　2020.7.20　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録の確認

②　7 月 3 日全体幹事会報告

③　「技術士２次試験講習会」オンライン開催について

④　令和３年度全国大会展示メンバー選定

第 2 回　2020.10.16　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録の確認

②　10 月 1 日企画部会報告

③　次回講習会（2 月予定）について

④　次年度技術士講習会の実施方法について

⑤　当面の部会活動について

第 3 回　2020.11.13　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録の確認

②　第１回全国大会幹事会報告

③　次回講習会について

第 4 回　2020.12.10　関東支部およびオンライン会議

① 前回議事録の確認

② ドローン講習会（2 月開催予定）について

③ 次年度技術士講習会について

第 5 回　2021.1.29　関東支部およびオンライン会議

① 前回議事録の確認

② ドローン講習会（2 月 5 日）について

③ 技術士二次試験講習会（4 月 9 日）について

④ 第 2 回運営幹事会報告

第 6 回　2021.2.19　関東支部およびオンライン会議

① 前回議事録の確認

② 技術士二次試験講習会（4 月 9 日）について

③ 全国大会展示班作業依頼について

④ 技術士二次試験直前講習会について

第 7 回　2021.3.19　関東支部およびオンライン会議

① 前回議事録の確認

② 技術士二次試験講習会（4 月 9 日）について

③ 全国大会展示班作業依頼について

④ 技術士二次試験直前講習会（6 月 11 日）について

(6) 学術研究部会　　6 回（プログラム編成会議含む）　出席者延べ 138 名

第 1 回　2020.10.28　オンライン会議

① 部会メンバーの確認および自己紹介

② 学術研究部会　幹事・委員の役割分担について

③ 部会の本年度の活動方針について

④ 前回（第 47 回の発表会）の中止について

⑤ 第 48 回技術研究発表会の HP での案内状況

⑥ 第 48 回技術研究発表会の開催案

⑦ 第 48 回技術研究発表会の発表論文募集（案）

⑧ 土木学会誌へ掲載する会告案

⑨ 業務委託見積書

⑩ 2020 年度年間スケジュール（案）

⑪ 2021 年度全国大会への対応

第 2 回　2021.1.25　オンライン会議

① 前回議事録の確認

② 部会メンバーの確認

③ 学術研究部会　幹事・委員の役割分担について

④ 2020 年度事業報告・2021 年度事業計画

⑤ 発表会 Web サイト

⑥ 第 48 回技術研究発表会の開催案

⑦　2020年度年間スケジュール（案）

⑧　プログラム編成について

⑨　優秀発表者賞について

プログラム編成会議　2021.1.25　オンライン会議

各部門でプログラム編成会議

第3回　2021.2.22　オンライン会議

①　前回議事録の確認

②　部会名簿

③　学術研究部会　幹事・委員の役割分担について

④　2020年度年間スケジュール

⑤　聴講申込状況

⑥　概要集オンライン公開

⑦　Zoom操作確認

⑧　Zoom　URL

⑨　優秀発表者賞

⑩　採点幹事

⑪　特別講演会

⑫　当日のZoomの進行

⑬　事前送付物

⑭　CPD

⑮　学生アルバイト、会議室代、食事代など

第4回　2021.3.4　オンライン会議

優秀発表者選考

第5回　2021.3.25　オンライン会議

①　第48回技術研究発表会参加者数など

②　優秀発表者賞

③　投稿システム等の費用

④　第48回技術研究発表会　反省点・検討事項、次年度への引継ぎ

⑤　第49回技術研究発表会　開催校準備状況

(7) 広報部会　9回　出席者延べ133名

第1回　2020.7.13　関東支部およびオンライン会議

①　メンバー自己紹介、役割分担の確認

②　令和2年度活動計画

③　全国大会実行委員会について

④　コンクリートカヌー大会中止の経緯について

⑤　北代の倉庫の廃止について

⑥　建設技術展におけるどぼくカフェの開催について

⑦　第18回親子見学会の準備

⑧　その他（コロナ禍における部会活動について）

⑨　次回の部会開催日の確認

第２回　2020.8.20　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　コンクリートカヌー大会に代わるイベントについて

③　どぼくカフェの開催方法について

④　親子見学会代わるイベントに

⑤　次回の部会開催日の確認

第３回　2020.9.15　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録の確認

②　次回のコンクリートカヌー大会開催方法について

③　どぼくカフェ開催方法について

④　親子見学会に代わるイベントについて

⑤　企画部会への提出資料について

⑥　全国大会の準備について

⑦　次回の部会開催日の確認

第４回　2020.10.13　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　次回のコンクリートカヌー大会開催方法について

③　どぼくカフェ開催方法について

④　親子見学会に代わるイベントについて

⑤　次回の部会開催日の確認

第５回　2020.11.18　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　次回のコンクリートカヌー大会開催方法について

③　どぼくカフェ開催方法について

④　親子見学会に代わるイベントについて

⑤　次回の部会開催日の確認

第６回　2020.12.15　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　次回のコンクリートカヌー大会開催方法について

③　絵本感想文イベントについて

④　どぼくカフェ開催方法について

⑤　どぼくカフェ＠建設技術展について

⑥　次回の部会開催日の確認

第７回　2021.1.19　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　次年度のコンクリートカヌー大会開催方法について

③　絵本感想文イベントについて

④　どぼくカフェ開催方法について

⑤　土木学会全国大会の対応について

⑥　どぼくカフェ＠建設技術展について

⑦　次回の部会開催日の確認

第8回　2021.2.4　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　コンクリートカヌー大会のヒアリングについて

③　絵本感想文イベントについて

④　どぼくカフェ開催方法について

⑤　次回の部会開催日の確認

第9回　2021.3.23　関東支部およびオンライン会議

①　前回議事録確認

②　コンクリートカヌー大会のヒアリング結果について

③　絵本感想文イベントについて

④　どぼくカフェについて

⑤　次回の部会開催日の確認

(8) 交流部会　9回　　出席者延べ75名

第1回　2020.7.17　①　2020年度の担当割りについて

②　外国人技術者交流サロンについて

③　談話会について

④　現場見学会について

⑤　写真コンテスト

第2回　2020.8.19　本部A会議およびオンライン会議

①　談話会について

②　今後の活動方針について

第3回　2020.9.16　オンライン会議

①　次回談話会の段取り状況について

②　次回以降の談話会について

③　学生向けイベントについて

第4回　2020.10.21　オンライン会議

①　次回談話会段取り状況について

②　次回以降の談話会について

③　学生向けイベントについて

第5回　2020.11.27　オンライン会議

①　談話会（次回）、（次回以降）について

②　学生向けイベントについて

③　令和3年度全国大会について

第6回　2020.12.23　オンライン会議

①　談話会について

②　若手技術者交流サロンについて

③　第 22 回写真コンテストについて

④　令和 3 年度全国大会について

⑤　建設技術展 2020 関東（2/16～2/17）について

第 7 回　2021.1.27　オンライン会議

①　談話会について

②　若手技術者交流サロンについて（土木のおしごと 2/10】

③　第 22 回写真コンテストについて

④　令和 3 年度全国大会について

⑤　建設技術展 2020 関東（2/16～2/17）について

第 8 回　2021.2.24　オンライン会議

①　談話会について

②　若手技術者交流サロンについて（土木のおしごと 2/10】

③　第 22 回写真コンテストについて

④　令和 3 年度全国大会について

⑤　建設技術展 2020 関東（2/16～2/17）について

第 9 回　2021.3.24　オンライン会議

①　幹事の交代について

②　談話会について

③　第 22 回写真コンテストについて

④　令和 3 年度全国大会について

⑤　若手技術者交流サロンについて

(9) 支部選奨土木遺産選考委員会　3 回　出席者延べ 42 名

第 1 回　2020.5.16～7.17　メール審議

①メール審議に切り替えたことを全委員に通知及び

選奨候補の推薦書と資料の宛て先(福島)・日時（6 月 4 日）の連絡（5 月 16 日）

②支部推薦 6 件および公募 3 件のデータを全委員に配布及び

6 月 19 日を期限として審議を依頼（6 月 5 日）

③寄せられた意見を基に、各遺産の担当委員に修正を依頼（6 月 22 日）

④修正データを各遺産担当委員から全委員へ逐次配布付

⑤修正データを基に、再度審議

支部推薦 6 件・公募 3 件を決定した（7 月 17 日）

第 2 回　2020.12.5～2021.1.15　メール審議

①本部選奨土木遺産選考委員会の本年度認定の公表を受け、各都県で実施された 2020 年度

選奨の認定書授与式及びプレス報道について送付を依頼（12 月 5 日）

②2020 年度認定書授与式に係るデータを全委員に送付及び質問・意見交換（1 月 4 日～15 日）

③次年度の選奨候補の募集（1 月 4 日）

第 3 回　2021.3 月　メール審議

①2021 年度選奨土木遺産の支部推薦を審議

②2021 年度土木遺産支部選考委員の交代等について

(10) 関東支部役員候補者選考委員会　1回　出席者 12 名

第 1 回　2020.10.21　2021 年度役員候補者の選考について

(11) 令和 3 年度全国大会準備委員会　1回　出席者 20 名

第 6 回　2020.8.5　土木学会 AB 会議室およびオンライン会議

① これまでの準備状況

② お案ライン開催（案）

③ R3 全国大会紹介 PPT（案）

④ 全国大会実行委員会の開催

(12) 令和 3 年度全国大会実行委員会　1回　出席者 22 名

第 1 回　2020.8.28　本部講堂およびオンライン会議

① 支部長挨拶

② 実行委員長挨拶

③ 令和 3 年度土木学会全国大会について

④ 令和 3 年度土木学会全国大会実行委員会について

⑤ 令和 3 年度全国大会全体テーマについて

(13) 令和 3 年度全国大会実行委員会幹事会　3回　出席者延べ 72 名

第 1 回　2020.11.12　関東支部およびオンライン会議

① 令和 2 年度全国大会開催報告について

② 学会誌 R3.1 月号全国大会紹介ページ及び R3.2 号第 76 回年次学術講演会実施要領について

③ 本部（谷口次期会長）との打ち合わせ結果について

④ 全国大会テーマについて

⑤ 全国大会開催方針の検討にういて

⑥ 今後のスケジュールについて

第 2 回　2020.12.24　関東支部およびオンライ会議

① 全国大会関連の学会誌原稿について

② 全国大会実施方針について

③ 各班の役割について

④ 今後のスケジュールについて

第 3 回　2021.2.10　関東支部およびオンライ会議

① 各部会・班からの進捗状況について

３．講習会

(1) 講習会「土木技術者に求められる資質と素養」　【技術情報部会】

東京開催　－技術士第二次試験受験のための直前講習会（演習付）　第 12 回－　参加者 90 名

期　　日:2020 年 9 月 6 日(土)

開催方法:オンライン

講演題目および講師:

① 二次試験の重要ポイント、骨組みシートを使った合格論文の設計

（有）佐藤Ｒ＆Ｄ代表取締役　佐藤国仁　氏

② 選択科目Ⅲ（課題解決問題）の解答評価

（株）協和コンサルタンツ生産管理室課長　杉内正弘　氏

③　選択科目Ⅱ（専門知識及び応用能力）の解答評価　杉内正弘　氏

④　必須科目Ⅰ（択一式）の解答評価、今後の試験準備　杉内正弘　氏

(2) 講習会「ドローン講習会第2弾！！～安全かつ効率的な利活用に向けて」　【技術情報部会】　参加者45名

期　　日：2021年2月5日（金）

開催方法：オンライン

講　　師：国土交通省関東地方整備局　荒川河川事務所　総括地域防災調整官　知久雅弘　氏

国土交通省関東地方整備局　新川河川事務所　河川情報課長　南竹知己　氏

4．技術研究発表会　【学術研究部会】

第48回技術研究発表会　参加者延べ1443名

(1) 技術研究発表会

期　　日：2021年3月1日（月）～3日（水）

開催方法：オンライン

申 込 数：360編

＜優秀発表者賞受賞＞

第Ⅰ部門：庄子　諒（中央大学大学院）、升井　尋斗（茨城大学）、濵田　匠李（防衛大学校）

藤岡　光（宇都宮大学大学院）

第Ⅱ部門：大久保　里彩（中央大学大学院）、小嶋　暁（防衛大学校）、岡山　士朗（中央大学大学院）

並河　奎伍（中央大学）、加藤　奨之（東京都立大学）

第Ⅲ部門：安河内　良典（防衛大学校）、木梨　優太（中央大学）、磯部　祐輝（中央大学）

第Ⅳ部門：星野　成美（中央大学）、菅原　諭良斗（早稲田大学）、樋笠　誠智（防衛大学校）

堤　紗希（前橋工科大学）、遠山　寛人（山梨大学）

第Ⅴ部門：深澤　英将（芝浦工業大学）、柳谷　一輝（宇都宮大学）

第Ⅵ部門：高田　章詩（宇都宮大学）、滕　飛（中央大学大学院）、宇髙　玲衣（東日本旅客鉄道）

阿部　麦斗（東日本旅客鉄道）

第Ⅶ部門：早川　由里子（筑波大学）、生方　真奈（千葉工業大学大学院）

(2) 特別講演会

期　　日：2021年3月3日（水）

開催方法：オンライン

題　　目：近年の豪雨災害の特徴とその学術的動向

講　　師：中央大学理工学部　山田　正　教授

参 加 者：134名

5．談話会　【交流部会】

第1回「談話会」

期　　日：2020年12月21日（月）

開催方法：オンライン

テ ー マ：「ダムコンクリート打設の自動化技術について」

講　　師：清水建設株式会社　土木技術本部　山下哲一　氏

参 加 者：44 名

6．若手技術者交流サロン　【交流部会】

期　　日：2021 年 2 月 10 日（水）

開催方法：オンライン

テ ー マ：土木のおしごと

講　　師：東京都下水道局　第二基幹施設再構築事務所　宝福拓　氏

東日本旅客鉄道㈱　構造技術センター　西村脩平　氏

鹿島建設㈱　東京土木支店　鈴木ひかり　氏

㈱オリエンタルコンサルタンツ　東京支社　武藤由華　氏

参加者：22 名

7．見学会

(1) 技術研究所見学会（土木の日行事：各企業と共催）　【広報部会】

期　日：2020 年 10 月～2021 年 1 月

見学先：3 研究所

（株）フジタ技術センター	(11/5、1/22)	参加者 80 名
五洋建設(株)技術研究所	(11/26)	参加者 67 名
(株)奥村組技術研究所	(11/19)	参加者 25 名

参加者合計：約 172 名（地元小学生他）

8．2020 年度選奨土木遺産認定に伴う認定書授賞式　【選奨土木遺産支部選考委員会】

(1) 遺産名：寺坂橋

受賞者：埼玉県本庄市

授賞式：2020 年 11 月 20 日(金)　本庄市役所会議室

(2) 遺産名：鷺石橋

受賞者：群馬県

伝達式：2020 年 12 月 17 日（木）　群馬県沼田土木事務所

(3) 遺産名：日光いろは坂（第 1・第 2）

受賞者：栃木県

授賞式：2020 年 11 月 6 日(金)　栃木県総合文化センター

(4) 遺産名：表参道ケヤキ並木道（赤坂杉並線）

受賞者：東京都建設局

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から授与式開催は見送り

(5) 遺産名：佐伯橋

受賞者：山梨県都留市

授賞式：2020 年 11 月 18 日(水)　佐伯橋橋詰

(6) 遺産名：栃ケ原地すべり 1 号集水井

受賞者：新潟県

授賞式：2020 年 11 月 18 日(水)　アートホテル新潟駅前

(7) 遺産名：秦野・曽屋水道

受賞者：神奈川県秦野市

授賞式：2020 年 12 月 3 日(木)　秦野市役所

(8) 遺産名：横浜港新港埠頭関東大震災復興護岸群

受賞者：国土交通省関東地方整備局（所有者：管理委託者）、横浜市（管理者：受託管理者）

授賞式：2020 年 12 月 8 日(火)　国土交通省関東地方整備局横浜第二合同庁舎

(9) 遺産名：常盤橋

受賞者：東京都千代田区

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から授与式開催は見送り

９．写真コンテスト　【交流部会】

第 22 回「土木のある風景」写真コンテスト

テ　ー　マ：「土木のある風景」

応 募 期 間：2020 年 11 月 18 日～2021 年 2 月 20 日

応　募　数：305 件

審　　　査：交流部会幹事・広報部会幹事・学術研究部会幹事

最優秀賞：河内　聡『天空の懸け橋』(撮影場所：岐阜県中津川市　城山大橋)

優 秀 賞：鹿島和生『栄華を偲ぶ』(撮影場所：宮崎県臼杵郡日之影町　五ヶ瀬第三橋梁)

杵鞭正芳『伝承の美橋』(撮影場所：山口県岩国市)

佳　　作：森 康宏『ふたご座流星群 with 宮川橋』(撮影場所：三重県大台町 紀勢自動車道)

佐藤　勉『鉄路多交差』(撮影場所：大和西大寺駅)

小泉次郎『堰堤に泳ぐ』(撮影場所：愛媛県東温市山之内（除ケの堰堤）)

１０．土木の絵本感想文　　【広報部会】

「土木を感じる！親子で探検～絵本の世界～」

応 募 期 間：2020 年 11 月 18 日～2020 年 12 月 13 日

作品提出期日：2021 年 1 月 12 日（火）

応　　募　　数：33 家族、39 作品

協　　　　力：一般社団法人　土木技術者女性の会　東日本支部

１１．スチューデントチャプター関連

(1) 登録活動校

・日本大学船橋部会

・日本大学大学院生産工学研究科土木工学専攻

・東京都市大学工学部

・東海大学工学研究科

(2) 第 13 回どぼくカフェ　　【広報部会】

期　　日：2021年2月26日（金）19：00～20：00

開催方法：オンライン

テ ー マ：「つくろう、島の未来～日本の島々と離島経済新聞社の活動について～」

講 演 者：鯨本あつこ氏（NPO法人離島経済新聞社統括編集長）

参 加 者：33名

１２．広報活動

(1) 関東支部Facebook「シビルネット関東」　【広報部会】

(2) メルマガ配信　【広報部会】

・配信は原則2回／月

１３．出版物

・講習会「土木技術者に求められる資質と素養」－技術士第二次試験受験のための直前講習会（建設部門模擬試験付）－第12回　2020年　6月刊行　100部　（28頁）

・第48回技術研究発表会講演概要集（CD－ROM版）　2021年　3月刊行　600部

１４．協賛

・「建設技術展2020関東」（2021.2.16～2.17）

日刊建設工業新聞社

（どぼくカフェ：2021.2.17　オンライン配信、技術者ディスカッション：2021.11延期）

１５．コロナ禍における中止行事

・講習会「土木技術者に求められる資質と素養」　【技術情報部会】
－技術士第二次試験受験のための実践講習会（演習付）－

・コンクリートカヌー大会　【広報部会】

土木系学生によるコンクリートカヌー大会

・現場見学会（土木の日行事）　【交流部会】

・親子見学会（土木の日行事）　【広報部会】

・教員免許状更新講習会　【交流部会：シニアサロン（筑波大学共同開催）】

・その他：企画講習会、談話会、どぼくカフェ、技術研究所見学会、各部会：回数減

１６．分会行事報告

【　新潟会　】

1）通常総会 2020.5.21　書面開催

2）幹事会　4回

3）講演会

① 第1回「土木の日」記念講演会　2020.11.18　アートホテル新潟駅前　参加者80名

「防災意識向上の必要性について」～台風19号豪雨災害からの教訓～
国土交通省北陸地方整備局　総括防災調整官　渡邊昌彦　氏

「挑戦し続ける心～夢はときどき叶う～」　フリーアナウンサー・エッセイスト　遠藤麻理　氏

4）第 38 回研究調査発表会 Web 発表会（長岡高専） 2020.11.17～20

発表論文：109 件　　発表動画：92 件

5）研究活動 2019.4～2021.3

コンクリート構造物の施工品質管理と耐久性に関する研究委員会

6）建設事業のイメージアップ活動（日建連北陸支部と共催）「土木の日」関連行事

① 講演会（第 1 回講演会参照）

7）新潟県内の土木施設を紹介する取り組み

HP にて新潟県内の土木施設を「新潟土木構造物めぐり」と題して 52 施設について紹介

8）その他

①土木学会選奨土木遺産認定書授与式（2020.11.18 土木の日記念講演会時）

「栃ケ原地すべり第 1 号集水井」

【 山梨会 】

1）通常総会　2020.4.8　書面開催　参加者 17 名

4）幹事会　　5 回

3）講習会　2021.1.29　県立文学館講堂およびオンラインでの配信　参加者 100 名

「最近の異常気象について」　甲府気象台調査官　北野芳仁氏

「水害の実態と治水事業（教訓・対策）」　山梨大学大学院教授　末次忠司氏

4）見学会　中止

【 群馬会 】

1）通常総会　書面開催

2）講習会

第 19 回コンクリート研究会　2020.12.04　オンライン開催　参加者約 50 名

「群馬県内におけるコンクリート構造物の研究活動に関する研究発表会」

3）土木の日イベント in ぐんま 2020

記念 WEB 講演会　2020.11.18 配信開始

動画放映状況　2020.11.24 時点

「人々の暮らしと安全を支える守り人」動画再生数 348 回

「健康を支える土木」動画再生数 149 回

「最近の気候変動を考える」動画再生数 273 回

4）機関誌「群馬を拓く」第 30 号の発行

【 栃木会 】

1）　通常総会　2020.8.24－9.4　書面開催および Web 審議

2）　幹事会　2020.6.29－7.10　書面開催および Web 審議

3）　講演会、意見交換会　中止

〔共催行事〕

4）土木学会選奨土木遺産認定書授与式　2020.11.6　栃木県総合文化センター　サブホール

認定遺産：「日光いろは坂（第 1・第 2）」　管理者：栃木県日光土木事務所

〔共催行事〕

5）技術講習会　中止

〔共催行事〕

6)「土木の日」第38回研究発表会　2020.11.6　(CCI とちぎ、栃木県建設技術協会　共催)

7) エクスカーション　2020.11.14

「明治～大正期の技術と意匠に触れる近代土木遺産探訪の旅」

いろは坂、イタリア・英国大使館別荘記念公園、華厳の滝、所野第一発電所　参加者26名

8) 各種事業への支援・参加・協賛　　実施なし

9) その他

2020年度会員名簿の作成およびホームページの更新

【　茨城会　】

1) 理事会および通常総会　2020.7.31-8.21　書面開催

2) 幹事会：メール審議を含め定期的に開催

3) 調査研究部会

①2020年度選奨土木遺産の推薦及び次年度推薦候補の検討

②橋梁や河川に関するモニタリング技術の検討

老朽橋梁にひずみセンサー、氾濫の恐れの高い河川に水位センサーを取り付け、常時挙動を遠隔地から観測できるシステムを開発

4) 広報関係

「茨城会」ホームページの運用

◆2020年度関東支部決算報告

貸借対照表

2021年 3月31日現在

（単位:円）

科　　　目	2020年度	2019年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
1．流動資産			
現金預金	10,141,032	8,567,643	1,573,389
前払金	455,170	336,765	118,405
貯蔵品	24,650	24,650	0
流動資産合計	10,620,852	8,929,058	1,691,794
2．固定資産			0
(2) 特定資産			0
退職給付引当預金	1,767,744	1,511,622	256,122
記念事業積立預金	4,000,044	3,000,044	1,000,000
全国大会積立預金	7,649,834	5,649,834	2,000,000
地域貢献資金	4,736,800	3,736,800	1,000,000
支部運営積立預金	7,500,000	4,500,000	3,000,000
什器備品減価償却引当預金	64,893	0	64,893
特定資産合計	25,719,315	18,398,300	7,321,015
(3) その他固定資産			
什器備品	335,024	0	335,024
什器備品減価償却累計額	△ 64,893	0	△ 64,893
敷金	2,694,100	2,694,100	0
その他固定資産合計	2,964,231	2,694,100	270,131
固定資産合計	28,683,546	21,092,400	7,591,146
資産合計	39,304,398	30,021,458	9,282,940
Ⅱ　負債の部			
1．流動負債			
預り金	118,180	117,256	924
前受金	722,000	240,000	482,000
流動負債合計	840,180	357,256	482,924
2．固定負債			0
退職給付引当金	1,767,744	1,511,622	256,122
固定負債合計	1,767,744	1,511,622	256,122
負債合計	2,607,924	1,868,878	739,046
Ⅲ　正味財産の部			
1．指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2．一般正味財産	36,696,474	28,152,580	8,543,894
正味財産合計	36,696,474	28,152,580	8,543,894
負債及び正味財産合計	39,304,398	30,021,458	9,282,940

収支決算書

【関東支部】

2020年 4月 1日から2021年 3月31日まで　　(単位：円)

科　　目	2020年度決算額①	2019年度決算額②	差　異（①-②）
I　事業活動収支の部			
1．事業活動収入			
（1）特定資産運用収入	**980**	**1,432**	**▲ 452**
（2）事業収入	**1,422,870**	**3,620,000**	**▲ 2,197,130**
① 行事収入	1,422,870	3,510,000	▲ 2,087,130
講習会	665,010	2,508,000	▲ 1,842,990
技術研究発表会	757,860	922,000	▲ 164,140
談話会	0	80,000	▲ 80,000
② 土木の日行事	0	110,000	▲ 110,000
（3）補助金収入	**0**	**0**	**0**
（4）雑収入	**219**	**62**	**157**
受取利息	79	62	17
雑収入	140	0	140
（5）他会計繰入金収入	**28,482,800**	**28,787,000**	**▲ 304,200**
全国大会繰入金	0	0	0
その他繰入金	28,482,800	28,787,000	▲ 304,200
事業活動収入計	**29,906,869**	**32,408,494**	**▲ 2,501,625**
2．事業活動支出			
（1）事業費支出	**10,470,768**	**16,874,259**	**▲ 6,403,491**
①行事費	1,816,888	7,128,105	▲ 5,311,217
講習会	481,289	1,245,204	▲ 763,915
コンクリートカヌー大会	159,472	4,586,728	▲ 4,427,256
技術研究発表会	1,170,057	1,189,781	▲ 19,724
談話会	6,070	106,392	▲ 100,322
②土木の日行事	876,117	877,112	▲ 995
③調査研究費	96,018	942,703	▲ 846,685
運営幹事会	1,050	33,960	▲ 32,910
企画部会	0	0	0
技術情報部会	5,641	21,494	▲ 15,853
学術研究部会	0	202,580	▲ 202,580
広報部会	54,103	108,657	▲ 54,554
交流部会	0	146,509	▲ 146,509
選奨土木遺産選考委員会	0	165,538	▲ 165,538
資格試験実施部会	0	21,193	▲ 21,193
災害対応部会	3,604	55,260	▲ 51,656
スチューデントチャプター	31,620	187,512	▲ 155,892
④表彰費	111,370	140,809	▲ 29,439
⑤研究等助成金	120,000	415,358	▲ 295,358
⑥広報啓発事業	829,180	628,560	200,620
⑦事業管理費支出	6,621,195	6,741,612	▲ 120,417
職員給与	3,204,430	3,158,344	46,086
法定福利費	540,379	545,623	▲ 5,244
福利厚生費	6,000	0	6,000
水道光熱費	89,461	111,253	▲ 21,792
備品消耗品費	88,246	90,777	▲ 2,531
発送通信費	80,502	67,318	13,184
臨時雇人給	211,500	150,810	60,690
賃借料	2,179,204	2,126,356	52,848
事務OA化費	38,480	4,830	33,650
会議費	55,763	282,992	▲ 227,229
謝金・賞金	45,000	0	45,000
旅費交通費	28,250	73,538	▲ 45,288
広報宣伝費	0	0	0
手数料	45,676	52,720	▲ 7,044
雑費	8,304	77,051	▲ 68,747

科　　目	2020年度決算額①	2019年度決算額②	差　異（①-②）
（2）管　理　費　支　出	6,621,192	6,741,681	▲ 120,489
職　員　給　与	3,204,430	3,158,346	46,084
法　定　福　利　費	540,377	545,631	▲ 5,254
福　利　厚　生　費	6,000	0	6,000
水　道　光　熱　費	89,460	111,262	▲ 21,802
備　品　消　耗　品　費	88,244	90,784	▲ 2,540
発　送　通　信　費	80,504	67,327	13,177
臨　時　雇　人　給	238,940	150,810	88,130
賃　借　料	2,179,204	2,126,365	52,839
事　務　O　A　化　費	38,480	4,832	33,648
会　議　費	46,853	282,996	▲ 236,143
謝　金　・　賞　金	45,000	0	45,000
旅　費　交　通　費	9,720	73,542	▲ 63,822
広　報　宣　伝　費	0	0	0
手　数　料	45,676	52,725	▲ 7,049
雑　費	8,304	77,061	▲ 68,757
（3）他　会　計　繰　入　金　支　出	3,950,000	3,950,000	0
事業活動支出計	21,041,960	27,565,940	▲ 6,523,980
事業活動収支差額	8,864,909	4,842,554	4,022,355
II　投資活動収支の部			
1．投資活動収支			
特　定　資　産　取　崩　収　入			
地　域　貢　献　積　立　預　金	0	43,200	▲ 43,200
記　念　事　業　積　立　預　金	0	0	0
全　国　大　会　積　立　預　金	0	0	0
投資活動収入計	0	43,200	▲ 43,200
2．投資活動支出			
固　定　資　産　取　得　支　出			
什　器　備　品　取　得　支　出	335,024	0	335,024
特　定　資　産　積　立　支　出			
記　念　事　業　積　立　預　金	1,000,000	0	1,000,000
全　国　大　会　積　立　預　金	2,000,000	0	2,000,000
地　域　貢　献　積　立　預　金	1,000,000	2,500,000	▲ 1,500,000
支　部　運　営　積　立　預　金	3,000,000	1,500,000	1,500,000
什器備品減価償却引当預金	64,893	0	64,893
退　職　給　付　引　当　預　金	256,122	215,946	40,176
投資活動支出計	7,656,039	4,215,946	3,440,093
投資活動収支差額	▲ 7,656,039	▲ 4,172,746	▲ 3,483,293
III　財務活動収支の部			
1．財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2．財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
＜　当期収支差額　＞	1,208,870	669,808	539,062
＜　前期繰越収支差額　＞	8,571,802	7,901,994	669,808
＜　次期繰越収支差額　＞	9,780,672	8,571,802	1,208,870

財産目録

2021年 3月31日現在
（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	305,147
	預金	普通預金		
		みずほ銀行四谷支店 No.1748232		2,206,598
		郵便振替		
		関東支部No.00100-6-178832		7,629,287
	前払金			
	全国大会旅費交通費			24,060
	全国大会会議費			1,349
	切手			39,740
	百周年記念切手			27,388
	その他前払金			362,633
	貯蔵品			
	百周年記念切手			24,650
	ブックレット			
流動資産合計				10,620,852
（固定資産）				
特定資産				
	退職給付引当預金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			1,767,744
	記念事業積立預金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			4,000,044
	全国大会積立預金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			7,649,834
	地域貢献資金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			4,736,800
	支部運営積立預金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			7,500,000
	什器備品減価償却引当預金			
	みずほ銀行四谷支店 No.6339683			64,893
その他固定資産				
	什器備品			335,024
	什器備品減価償却累計額			△64,893
	敷金			2,694,100
固定資産合計				28,683,546
資産合計				*39,304,398*
（流動負債）				
	預り金			
	源泉所得税			19,700
	介護保険料			4,240
	健康保険料			22,525
	厚生年金保険料			48,495
	雇用保険料			23,220
	前受金			722,000
流動負債合計				840,180
（固定負債）				
	退職給付引当金			1,767,744
固定負債合計				1,767,744
負債合計				*2,607,924*
正味財産				*36,696,474*

2020 年度会計監査報告

証

2020 年度、事業報告、収支決算書を監査の結果、

適正に執行されていることを認めます。

2021 年　5 月　11 日

公益社団法人土木学会関東支部

監査役　<u>鵜 飼　亮 行</u>

2021 年　5 月　11 日

公益社団法人土木学会関東支部

監査役　<u>堤　安 希 佳</u>

◆2021度　関東支部役員名簿

支部長	樫山和男	中央大学 理工学部長
幹事長	田中啓之	鹿島建設(株)土木管理本部プロジェクト推進部長
副幹事長	紅路一寛	新潟大学工学部工学科社会基盤工学プログラム教授
副幹事長	今村 崇	鹿島建設(株)土木管理本部土木企画部次長

Ⅰ．2021年度商議員

(任期2年) 新任:2021年度・2022年度　留任:2020年度・2021年度

新任:19名(内再任3名)　留任:29名　　合計48名

2021年度役員		所　属	退任(任期満了)	所　属
新任	長田昌彦	埼玉大学大学院　理工学研究科環境システム工学系専攻教授	鼎信次郎	東京工業大学環境・社会理工学院土木・環境工学系教授
	中藤誠二	関東学院大学　理工学部土木学系教授	阿部貴弘	日本大学理工学部まちづくり工学科教授
	服部敦	国土交通省　国土技術政策総合研究所河川研究部水防災システム研究官	片岡正次郎	国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部道路構造物管理システム研究官
	橋本敏一	日本下水道事業団　技術戦略部長	細川顕仁	日本下水道事業団技術戦略担当理事
	長谷部進一	埼玉県　県土整備部河川環境課長	清田 仁	新潟県土木部監理課企画調整室長
	上野寿幸	栃木県　県土整備部技術管理課長	星名 隆	神奈川県県土整備局総務室企画調整担当課長
	久家良和	茨城県　土木部検査指導課技術管理統括監兼検査指導課長	大塚雅昭	群馬県県土整備部建設企画課課長
	岡村浩志	東京都　土木技術支援・人材育成センター所長	加藤直宣	東京都土木技術支援・人材育成センター所長
	衛藤謙介	国土交通省　関東地方整備局港湾空港部長	衛藤謙介	(再任)
	篠井隆志	首都高速道路㈱　更新・建設部プロジェクト企画課長	篠井隆志	(再任)
	荻野竹敏	東京地下鉄㈱　鉄道本部工務部長	大石敬司	東京地下鉄㈱鉄道本部改良建設部長
	加藤和彦	清水建設㈱　土木営業本部執行役員副本部長	加藤和彦	(再任)
	三澤孝史	㈱奥村組　技術研究所 土木技術開発専門部長	梅村 勝	㈱熊谷組土木事業本部副本部長
	中桐秀雄	西松建設㈱　土木事業本部土木設計部長	藤原隆一	東洋建設㈱執行役員土木事業本部総合技術研究所長兼鳴尾研究所長
	小西一生	㈱竹中土木　技術・生産本部技術開発部長	鵜飼亮行	五洋建設㈱技術研究所技術企画グループ・海上グループ長
	太皷地敏夫	鹿島建設㈱　執行役員土木管理本部土木企画部長	坂田 昇	鹿島建設㈱　執行役員土木技術部長
	蓮本清二	東京電力HD㈱　技術戦略ユニット土木・建築統括室土木・建築人勢センター土木グループマネーシ	松村卓郎	(一財)電力中央研究所地球工学研究所副所長
	對島光伸	セントラルコンサルタント㈱　東京事業本部プロジェクト推進室長	中田健一	セントラルコンサルタント㈱　東京事業本部長
	鰐部隆正	㈱オリエンタルコンサルタンツ　執行役員関東支社長	堤安希佳	㈱オリエンタルコンサルタンツ　取締役執行役員関東支社長
留任	古関潤一	東京大学　大学院工学系研究科　社会基盤学専攻　教授		
	下村匠	長岡技術科学大学　環境社会基盤工学専攻　教授		
	寺部慎太郎	東京理科大学　理工学部　土木工学科　教授		
	長岡裕	長岡技術科学大学　環境社会基盤工学専攻　教授		
	野坂周子	国土交通省　大臣官房技術調査課技術企画官		
	木村康博	国土交通省　総合政策局公共事業企画調整課事業総括調整官		
	見坂茂範	国土交通省　関東地方整備局企画部長		
	渕上吾郎	(独)水資源機構　ダム事業部設計課長		
	御園直樹	千葉県　県土整備部技術管理課長		
	矢野昌	山梨県　県土整備部技術管理課課長		
	有本彰男	国土交通省　港湾局技術企画課技術企画調査官		
	佐野透	国土交通省　国土技術政策総合研究所管理調整部長		
	福山恵夫	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構事業監理部計画課長		
	神田政幸	(公財)鉄道総合技術研究所　構造物技術研究部長		
	中村克彦	東日本高速道路㈱ 技術本部　技術・環境部技術企画課課長		
	井料青海	東日本旅客鉄道㈱　建設工事部担当部長		
	福田誠一	東京急行電鉄㈱ 執行役員交通インフラ事業部長		
	新藤竹文	大成建設㈱　技術センター土木技術研究所部長		
	井上昭生	㈱大林組　土木本部生産技術本部統括部長		
	斯波明宏	三井住友建設㈱　土木本部土木営業部次長		
	末松直紀	東急建設㈱　土木事業本部営業統括部土木第一営業部長		
	手塚広明	前田建設工業㈱　執行役員経営革新本部副本部長		
	国枝重明	安藤・ハザマ　建設本部 建設統括部長		
	池口幸宏	電源開発㈱　再生可能エネルギー事業戦略部長		
	永矢貴之	㈱建設技術研究所 東京本社水システム次長		
	村上和史	パシコン技術管理㈱ 代表取締役社長		
	陰山建太郎	日本工営㈱　流域水管理事業本部河川水資源事業部副事業部長		
	田中祐人	JFEエンジニアリング㈱　社会インフラ本部主席		
	岩住知一	鹿島建設㈱　土木管理本部プロジェクト推進部長		

Ⅱ．2021年度監査役

三澤孝史	㈱奥村組　技術研究所 土木技術開発専門部長
永矢貴之	㈱建設技術研究所　東京本社水システム部長

◆2021年度関東支部事業計画

（2021年4月1日～2022年3月31日）

１．第58回支部総会

期　日：　2021年5月19日（水）　土木学会講堂（オンライン併用）

報告事項

１．　令和2年度事業報告および決算

２．　令和3年度事業計画および予算

３．　土木学会関東支部分会会則の改正（山梨会）

４．　令和3年度支部商議員および役員・幹事

５．　令和3年度全国大会準備状況

２．役員会

(1) 商議員会　1～2回

(2) 運営幹事会（支部長、幹事長、副幹事長、主査、副主査、幹事）2～3回

(3) 担当部会・委員会（幹事、委員）　適宜

(4) 関東地区役員候補者選考委員会　1回

(5) 令和3年全国大会実行委員会　適宜

３．講習会　【技術情報部会】

(1)「土木技術者に求められる資質と素養」

－技術士第二次試験受験のための実践講習会　第32回－

期　日：2021年4月9日（金）　9：30～17：00

開催方法：本部講堂及びオンライン

(2) 他講習会2～3回

４．講演会

状況に応じて開催

５．第49回技術研究発表会　【学術研究部会】

期　日：2022年3月

場　所：茨城大学

６．見学会

(1)「土木の日行事」親子見学会　【広報部会】

期　日：2021年11月

(2)「土木の日行事」現場見学会　【交流部会】

期　日：2021年11月

７．第25回土木系学生によるコンクリートカヌー大会　【広報部会】検討中

期　日：2021年8月28日（土）

場　所：荒川貯水池「彩湖」

８．第23回「土木のある風景」写真コンテスト【交流部会】

９．「談話会」新テーマで3～4回程度開催　【交流部会】

１０．教員免許状更新講習会　【交流部会：シニアサロン（筑波大学共同開催)】

期　日：2021 年 8 月 17 日（火）

場　所：防災体験学習施設（そなエリア）(東京臨海防災公園内)

１１．どぼくカフェの開催【広報部会】

１２．外国人技術者交流サロン及び若手技術者交流サロンの開催【交流部会】

１３．土木の日行事

１４．スチューデントチャプター活動支援

１５．シニアサロン活動支援

１６．各分会活動に対する活動支援

１７．土木学会認定技術資格試験支援【土木学会認定技術者資格試験実施部会】

１８．土木学会選奨土木遺産選考【選奨土木遺産選考委員会】

１９．企画助成の支援

２０．メルマガ配信（2 回／月）【広報部会】

２１．Facebook（関東シビルネット)・ホームページ運営【広報部会】

２２．分会事業計画

【　新潟会　】

(1) 第43回総会　2021.5.20　新潟グランドホテル

(2) 幹事会　　4回程度

(3) 講演会　　3回

(4) 第39回研究調査発表会　2021.11　（新潟大学担当）　　土屋雷蔵賞授与

(5) 研究活動

(6) 建設事業イメージアップ活動（日本建設業連合会北陸支部との共催）

(7)「土木の日」関連行事

①イメージアップ親子見学会

②講演会

③その他

(8) 研修会　　40名程度

(9) 定例会

(10) その他：①新潟県内の土木施設を新潟会のホームページで紹介

②女性技術者の職場環境作りや評価向上に向けた活動（情報の共有化）

③地域の発展に寄与するインフラ整備に関する広報活動の推進

【　山梨会　】

(1) 総会　2021.4.14　18：00～20：00

場所　岡島百貨店7階クリスタルホール（山梨県甲府市）

(2) 幹事会　11回：毎月開催を基本とする　　参加者数　各回10～15名

(3) 講習会　2021.7月か9月　　　参加者　150名程度

(4) 土木の日見学会　2021.11中旬　　　参加者　80名程度

(5) 第49回関東支部技術研究発表会　2022.3　活動報告ポスター展示

【　群馬会　】

（1）第33回通常総会　　書面開催

（2）講演会　　　　　　参加者（50名程度）　　　　　　　　　1回程度

（3）講習会　　　　　　参加者（100名程度／回）　　　　　　　2回程度

（4）見学会　　　　　　参加者（40名程度／回）　　　　　　　2回程度

（5）「土木の日」および「土木とくらしの週間」の関連行事として土木事業の PR 活動　　適宜

（6）懇親会および懇談会　　　　適宜

（7）機関誌「群馬を拓く」を発行

【　栃木会　】

（1）総会

（2）幹事会　　　　適宜

（3）講演会、意見交換会の実施

（4）現場見学会およびエクスカーションの実施

（5）広報活動の積極的な展開、ホームページおよび会員名簿の更新

（6）「土木の日」イベント事業・研究発表会の開催

（7）各種講習会、シンポジウム等への参加・支援

【　茨城会　】

※COVID-19の状況を注視しながら開催を検討

（1）通常総会　2021.7.30

（2）幹事会　3回程度

（3）講演会

特別講演会（総会時・第22回建設技術講演会）

第23回建設技術講演会　2021.11

（4）イブニングセミナー　　3回程度

（5）土木の日記念見学会　2021.11

（6）調査研究部会活動

①2021年度土木学会選奨土木遺産の推薦及び次年度推薦候補の検討

②茨城県建設フェスタへ部会活動内容を出展

③現地見学会

④選奨土木遺産認定書授与式

⑤橋梁や河川に関するモニタリング技術の検討

⑥茨城県における３Ｄセンシング技術普及に関する現状と課題の検討

（7）その他

①茨城会会報発行

②ホームページの運営

収支予算書

【関東支部】

2021年 4月 1日から2022年 3月31日まで　（単位：円）

科目	2021年度予算額①	2020年度予算額②	増減（①-②）
Ⅰ　事業活動収支の部			
１．事業活動収入			
（1）特定資産運用収入	0	0	0
（2）事業収入	**2,955,000**	**3,205,000**	**▲ 250,000**
①行事収入	2,850,000	3,100,000	▲ 250,000
講習会	1,650,000	1,900,000	▲ 250,000
技術研究発表会	1,120,000	1,120,000	0
談話会	80,000	80,000	0
②土木の日行事	105,000	105,000	0
（3）補助金収入	**0**	**0**	**0**
（4）雑収入	**1,000**	**3,000**	**▲ 2,000**
受取利息	0	3,000	**▲ 3,000**
雑収入	1,000	0	**1,000**
（5）他会計繰入金収入	**63,006,000**	**28,264,000**	**34,742,000**
全国大会繰入金	34,500,000	0	34,500,000
その他繰入金	28,506,000	28,264,000	242,000
事業活動収入計	65,962,000	31,472,000	34,490,000
２．事業活動支出			
（1）事業費支出	**56,674,000**	**20,164,000**	**36,510,000**
①行事費	9,705,000	9,735,000	▲ 30,000
講習会	800,000	930,000	▲ 130,000
コンクリートカヌー大会	5,200,000	5,080,000	120,000
技術研究発表会	3,565,000	3,565,000	0
談話会	140,000	160,000	▲ 20,000
②土木の日行事	1,637,000	1,252,000	385,000
③調査研究費	1,177,000	1,322,000	▲ 145,000
運営幹事会	35,000	45,000	▲ 10,000
企画部会	25,000	25,000	0
技術情報部会	10,000	30,000	▲ 20,000
学術研究部会	210,000	255,000	▲ 45,000
広報部会	105,000	125,000	▲ 20,000
交流部会	110,000	130,000	▲ 20,000
選奨土木遺産選考委員会	185,000	215,000	▲ 30,000
資格試験実施部会	17,000	17,000	0
災害対応部会	100,000	100,000	0
スチューデントチャプター	380,000	380,000	0
④表彰費	175,000	150,000	25,000
⑤広報啓発事業	400,000	500,000	▲ 100,000
⑥全国大会費	36,500,000		36,500,000
全国大会費	34,500,000	0	34,500,000
予備費	2,000,000	0	2,000,000
⑦事業管理費支出	7,080,000	7,205,000	▲ 125,000
職員給与	3,202,000	3,144,000	58,000
法定福利費	638,000	638,000	0
福利厚生費	6,000	6,000	0
備品消耗品費	102,000	102,000	0
発送通信費	76,000	76,000	0
水道光熱費	124,000	121,000	3,000
臨時雇人給	200,000	190,000	10,000
賃借料	2,226,000	2,226,000	0
事務ＯＡ化費	26,000	2,000	24,000

科　　　目	2021年度予算額①	2020年度予算額②	増減（①-②）
会　議　費	250,000	404,000	▲ 154,000
謝　金　・　賞　金	0	68,000	▲ 68,000
旅　費　交　通　費	128,000	126,000	2,000
手　数　料	76,000	76,000	0
雑　費	26,000	26,000	0
（2）管　理　費　支　出	7,046,000	7,178,000	▲ 132,000
職　員　給　与	3,198,000	3,144,000	54,000
法　定　福　利　費	632,000	632,000	0
福　利　厚　生　費	4,000	4,000	0
備　品　消　耗　品　費	98,000	98,000	0
発　送　通　信　費	74,000	74,000	0
水　道　光　熱　費	121,000	124,000	▲ 3,000
臨　時　雇　人　給	201,000	190,000	11,000
賃　借　料	2,224,000	2,224,000	0
事　務　O　A　化　費	24,000	3,000	21,000
会　議　費	250,000	396,000	▲ 146,000
謝　金　・　賞　金	0	67,000	▲ 67,000
旅　費　交　通　費	122,000	124,000	▲ 2,000
手　数　料	74,000	74,000	0
雑　費	24,000	24,000	0
（3）他　会　計　繰　入　金　支　出	3,950,000	3,950,000	0
事業活動支出計	67,670,000	31,292,000	36,378,000
事業活動収支差額	▲ 1,708,000	180,000	▲ 1,888,000
Ⅱ　投資活動収支の部			
1．投資活動収支			
特　定　資　産　取　崩　収　入	0	0	0
記　念　事　業　積　立　預　金	0	0	0
全　国　大　会　積　立　預　金	2,000,000	0	2,000,000
支　部　運　営　資　金	0	0	0
地　域　貢　献　積　立　預　金	50,000	50,000	0
投資活動収入計	2,050,000	50,000	2,000,000
固　定　資　産　取　得　支　出			
什　器　備　品　取　得　支　出	0	0	0
2．投資活動支出			
特　定　資　産　積　立　支　出			
記　念　事　業　積　立　預　金	0	0	0
全　国　大　会　積　立　預　金	0	0	0
地　域　貢　献　積　立　預　金	0	0	0
支　部　運　営　積　立　預　金	0	0	0
什　器　備　品　減　価　償　却　引　当　預　金	112,000	0	112,000
退　職　給　付　引　当　預　金	230,000	230,000	0
投資活動支出計	342,000	230,000	112,000
投資活動収支差額	1,708,000	▲ 180,000	1,888,000
Ⅲ　財務活動収支の部			
1．財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2．財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
＜　当期収支差額　＞	0	0	0
＜　前期繰越収支差額　＞	9,780,672	8,571,802	1,208,870
＜　次期繰越収支差額　＞	9,780,672	8,571,802	1,208,870

土木学会認定 CPD プログラム

令和３年度

土木学会全国大会 案内

Japan Society of Civil Engineers 2021 Annual Meeting

大会テーマ

これまでも、これからも
生活経済社会の礎を築く土木

～市民と連携し、インフラのビッグ・ピクチャーを描こう～

日時：令和３年９月６日（月）～10 日（金）
会場：オンライン開催
主催：公益社団法人 土木学会

全国大会情報

http://www.jsce.or.jp/taikai2021/

本附録の掲載情報は、令和３年５月現在のものです。
掲載情報が変更になっている場合もございますので、ホームページも合わせてご確認ください。

挨拶

「令和３年度　土木学会全国大会を迎えて」

土井　弘次　DOI Hirotsugu
令和３年度土木学会全国大会実行委員長
国土交通省関東地方整備局長

令和３年度の土木学会全国大会は、関東地方では平成25年の開催以来８年ぶりに、９月８日(水)～９月10日(金)の３日間、東海大学湘南キャンパスがある神奈川県平塚市で開催される予定でした。しかし、新型コロナウイルスの感染の蔓延が続いていることから、９月６日(月)～９月10日(金)の５日間、昨年度の全国大会と同様にオンライン形式で開催することとなりました。今回は、準備期間が十分に確保できるので、ライブ配信による発表・質疑応答とするなど、会員の皆様との双方向のコミュニケーションを確保することとし、より前進した形でのオンライン開催となります。

大会会場となる予定であった東海大学湘南キャンパスは、神奈川県平塚市に位置し、起伏に富んだ約５４haの広大で緑濃い自然環境の中にあります。東海大学は1942年に創立され、大学で生まれた「知」を社会に還元することを理念とし、産官学連携による研究活動を積極的に取り組んでいる大学です。理工系から情報系、人文・社会系、スポーツまで文理融合型総合大学で、湘南キャンパスには多様な１１学部、大学院が併設されております。キャンパスの北側には大山をはじめとした丹沢山系、西側には世界遺産に登録された富士山が望めます。キャンパスの南側近くには湘南の海が広がり、また観光地の箱根も近く、多くの参加者が湘南に集うことを関係者一同楽しみにしていました。残念ながらオンライン開催となりましたが、オンラインの映像などを通じて、当地の雰囲気を少しでも感じて頂ければ幸いです。

さて、本大会は、平成２３年の東日本大震災からちょうど10年目に当たります。広範囲および甚大な被害をもたらしましたが、その復旧・復興に「土木」の力が遺憾なく発揮され、インフラ整備は着実に進捗しました。一方、この10年間で、平成28年熊本地震、や平成３０年の北海道胆振東部地震、令和元年の千曲川が決壊した東日本台風、令和２年の球磨川等が氾濫した７月豪雨など、全国各地で大規模な災害が発生しています。今後、首都直下地震や東南海地震などの発生も想定され、「土木」技術者がこの脆弱で災害の多い国土に対し、引き続きソフト・ハードの両面で立ち向かうことが必要です。また、我が国のインフラは、今後、建設から５０年以上経過

する施設の割合が加速度的に増加する見込みであり、産学官が連携して持続可能なメンテナンス技術や体制の確立が求められています。

こうした中、政府は昨年12月に「防災･減災、国土強靱化のための加速化対策」を閣議決定しました。5年間で概ね15兆円を目途にして、重点的かつ集中的に国土強靱化に取り組むこととしています。

本大会のテーマは、「これまでも、これからも生活経済社会の礎を築く土木」としました。市民生活や経済活動において、河川・道路・港湾・鉄道・空港等あらゆるインフラの基礎となっている土木事業は、従前からも、また将来においても地域の安心・安全や、雇用・経済を維持するために必要不可欠なものです。サブタイトルでは、「市民と連携し、インフラのビッグ・ピクチャーを描こう」と皆さんに呼びかけています。人口減少・少子高齢化、経済再生・脱デフレ促進、国土強靭化など、時代の要請に対応したインフラの整備･保全を進めていくためには、長期的な視野に立った全体俯瞰図（ビッグ・ピクチャー）を市民の理解や協力を得ながら策定しようというメッセージが込められています。谷口会長による基調講演「これからの暮らし、経済とインフラのビッグピクチャー　～開かれた魅力溢れる土木学会を目指して～」では、今回のテーマに込められた思いが皆さんに伝えられるものと期待されます。土木技術者の目指すべき方向を考える絶好の機会であり、会員の皆様とともに、その実現に向け努力していきたいと思います。

本大会では、特別講演としてテレビなどでもよく出演される涌井史郎氏（東京都市大学特別教授・造園家）による「ＳＤＧｓによる地域づくり」、東海大学医学部梅澤和夫氏による「災害派遣医療現場及び新型コロナ感染症の現状」について講演いただく予定です。また、全体討論会では、新型コロナが社会に及ぼした影響や、新しい生活様式や市民との協働などを考慮した上で、今後のインフラのビックピクチャーと社会に果たすべき役割について、コーディネーターと5人のパネラーで議論します。また、オンライン見学会として、令和元年の台風19号で被災した箱根登山鉄道の復旧までの状況を現地での事前収録動画等を用いてオンライン配信する予定ですので、楽しみにして下さい。

また、近年、建設現場の生産性向上や魅力アップを目的に、インフラ分野におけるデータとデジタル技術を活用したDX（デジタル・トランスフォーメーション）が強力に推進されています。本大会においても、多くの論文が報告されており、数年後には、土木技術者がDX技術を当たり前のように習得しているものと期待されます。さらに、インフラのメンテナンスをはじめ、地方自治体の土木技術者が取り組む地域独自の課題について、幅広い分野の方々で議論する共通セッションを開催します。多くの皆さんの参加を期待しています。

本大会は、オンライン開催となりましたが、全国から多くの学会員が参加し、大会を通して最新の研究に触れ、研鑽を積み、令和の「土木技術者」として新たな時代を築く1ページとなることを願っています。

全国大会行事案内

大会スケジュール

時刻	第1日目 9月6日(月)	第2日目 9月7日(火)	第3日目 9月8日(水)	第4日目 9月9日(木)		第5日目 9月10日(金)	
8:30							
9:00			9:30 実行委員長挨拶 9:35 基調講演会 45分 10:20	9:30 年次学術講演会① 80分 10:50	9:30 第23回 インターナショナルサマーシンポジウム 12:30	9:30 年次学術講演会⑥ 80分 10:50	9:30 第23回 インターナショナルサマーシンポジウム 12:30
10:00	10:00 研究討論会①～③ 120分 12:00	10:00 研究討論会⑩～⑫ 120分 12:00	休憩30分 10:50 特別講演会① 60分 11:50				
11:00				11:10 年次学術講演会② 80分 12:30		11:10 年次学術講演会⑦ 80分 12:30	
12:00	休憩60分	休憩60分	休憩70分				
13:00	13:00 研究討論会④～⑥ 120分 15:00	13:00 研究討論会⑬～⑮ 120分 15:00	13:00 特別講演会② 60分 14:00	13:00 年次学術講演会③ 80分 14:20		13:00 年次学術講演会⑧ 80分 14:20	
14:00			休憩20分 14:20 全体討論会 90分 15:50	14:40 年次学術講演会④ 80分 16:00		14:40 年次学術講演会⑨ 80分 16:00	14:00 国際若手技術者ワークショップ 17:00
15:00	休憩30分 15:30 研究討論会⑦～⑨ 120分 17:30	休憩30分 15:30 研究討論会⑯～⑱ 120分 17:30	休憩10分				
16:00			16:00 国際ラウンドテーブル 120分 18:00	16:20 年次学術講演会⑤ 80分 17:40		16:20 年次学術講演会⑩ 80分 17:40	
17:00							
18:00							

行事案内

(1)基調講演会　　9月8日（水）　9：35～10：20

第109代土木学会会長
谷口　博昭　TANIGUCHI　Hiroaki
（一財）建設業技術者センター理事長
学会歴
1991年7月　土木学会入会
1995年7月　フェロー会員

1991年7月～1994年6月　企画委員委員会 委員
2007年5月～2009年5月　副会長
2007年5月～2008年5月　環境賞選考委員会 副委員長
2008年5月～2009年5月　環境賞選考委員会 委員長
2008年5月～2009年5月　表彰委員会 技術賞主査
2009年5月～2010年5月　役員候補者選考委員会 委員長
2010年6月～2012年5月　論説委員会 委員
2020年度次期会長
2021年度会長

講演題目：「これからの暮らし、経済とインフラのビッグピクチャー ～開かれた魅力溢れる土木学会を目指して～」

要旨：少子高齢化・人口減少、グローバル化やIT,DXの進展、地球環境問題、エネルギー制約の大きな変化の時代です。開かれた魅力溢れる土木学会を目指して、変化に適応する暮らし、経済とそれを支えるインフラのビッグピクチャー（全体俯瞰図）を策定したい。

(2) 特別講演会

特別講演①　9 月 8 日（水）　10：50～11：50

涌井　史郎　WAKUI　Shiro

造園家。東京農業大学農学部造園学科出身。

（現）東京都市大学 特別教授、 愛知学院大学 経済学部 特任教授、 東京農業大学　中部大学 客員教授、 岐阜県立森林アカデミー 学長、 なごや環境大学 学長などを務めている。多摩田園都市・二子玉川ライズ、ハウステンボスなどのランドスケープ計画、首都高大橋ジャンクション等、数多く作品を残す。また、「首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する検討会」委員長も経験した。日本造園学会賞、土木学会賞等も受章。

講演題目：持続的未来を確かにするグリーンインフラへの展開

要旨：恵沢と自然災害が背中合わせになっている我が国の国土は、気候変動に起因した災害の激甚化に晒されている。これまでの災害防御技術は、工学的知見を動員した営造物によるものであったが、ピークと常態の差が大きく、非連続性の線形を描く激甚化した災害圧力に対応するためには、自然を社会資本財と並べた資本財として位置づけ、自然生態系や地形地物を利活用した手法、つまりグリーンインフラの観点に目を向け、営造物による「緩和戦略」と組み合わされた「適応戦略」の技術を開発し、多重防御の手法を検討することの重要性が高まろうとしている。

特別講演②　9 月 8 日（水）　13：00～14：00

梅澤　和夫　UMEZAWA　Kazuo

東海大学医学部救命救急医学

1965 年生まれ。1997 年熊本大学大学院医学研究科修了。医学博士。2001 年より東海大学医学部救命救急医学。

研究専門分野：細菌学、感染制御学。災害派遣としては新潟県中越地震における医療救護班、日本 DMAT として東日本大震災、茨城県鬼怒川豪雨災害、熊本地震に派遣された。新型コロナ感染症の対応、対策策定も行っている。

講演題目：災害派遣医療現場及び新型コロナ感染症の現状

要旨：日本で多発する自然災害に対して、発生直後に危機にさらされた人命をいかに守るか、多くの災害派遣の経験からその医療救護現場対応の最前線といまだ収束が見通せない新型コロナ感染症の現状とその制御についてお話しします。

(3) 全体討論会　　9 月 8 日（水）　14：10〜15：50

テーマ：「新しい生活様式に対応し、市民と協働したインフラづくりに向けて」

討論内容（趣旨）：

日本では、2020 年の新型コロナウイルス感染症のまん延により、緊急事態宣言などで外出抑制を余儀なくされ、テレワークの拡大などの三密を避けた働き方、暮らし方が求められるようになった。まだ収束が見えない状況であるが、新型コロナウイルスは社会にどのような影響を及ぼしたのか、また、今後の社会に向けて、新しい生活様式を考慮し、市民といかに協働していけばいいのか、今後のインフラのビックピクチャーと社会に果たすべき役割を考えます。

講師の紹介：

コーディネーター

福田　敦　FUKUDA Atsushi

日本大学理工学部交通システム工学科 教授

1959 年生まれ。日本大学大学院理工学研究科を修了し日本大学理工学部助手として勤務、2005 年より同教授。交通システム分析に関わる教育、研究に従事。JICA 専門家としてアジア工科大学に派遣経験を持つ。2009 年土木学会国際活動奨励賞受賞。2014 年から 2 年間、土木学会関東支部長を務めた。

パネリスト

五十嵐　秀　IGARASHI　Shu

小田急電鉄（株）　常務取締役　執行役員　交通サービス事業本部長

1961 年生まれ。早稲田大学理工学部を卒業し小田急電鉄（株）に入社、入社以来、主に鉄道部門や経営企画部門に従事。現在、交通サービス事業本部長として、複々線効果の最大化や将来を見据えた鉄道事業基盤の強化・安全施策の立案に関わる部門と鉄道現業全体、および観光事業を担う部門を統括している。

パネリスト

坂田　美保子　SAKATA　Mihoko

湘南 NPO サポートセンター　理事長　　ひらつか市民活動センター センター長

子育て中、幼小中学校の PTA 本部活動、子育て支援活動や地域活動を経験し、2006 年より中間支援の活動に携わる。2011 年、湘南 NPO サポートセンターを設立、地域や団体の相談に応じながら、市民協働のまちづくりに向けて活動中。平塚市協働事業審査会委員長（～H28)、綾瀬市市民活動協働アドバイザー、かながわ協働推進協議会委員、東海大学健康課題解決推進会議普及教育委員会委員、茅ケ崎市市民活動推進委員など

パネリスト

佐藤　亮一　SATO　Ryoichi

神奈川県庁　県土整備局技監兼都市部長

1987 年神奈川県入庁。2014 年政策局知事室政策推進担当課長、2016 年厚木土木事務所津久井治水センター所長、2017 年県土整備局道路部道路整備課長、2019 年県土整備局河川下水道部長などを歴任し、2021 年 4 月より現職。

パネリスト

浜田　紗織　HAMADA　Saori

（株)ワーク・ライフバランス　執行役員

2005 年東京工業大学工学部土木工学科卒業、一橋大学・東京医科歯科大学連合複合領域生活空間研究コース修了。同年東急電鉄株式会社（現東急株式会社）入社、鉄道事業本部土木系総合職として大規模改良工事、新規路線計画、需要予測等を担当。2013 年株式会社ワーク・ライフバランス入社。新しい働き方が現代社会に必要とされる社会インフラになるために、現場第一で組織改革に伴走する。2019 年より執行役員。主なクライアントは国土交通省道路局、中部地方整備局、鹿島建設中部支店、日本通運株式会社等。三児の母。

パネリスト

浜田　誠也　HAMADA　Seiya

パシフィックコンサルタンツ(株)プロジェクトイノベーション事業本部
顧問

1956 年生まれ。東海大学工学部土木工学科を卒業し 1984 年に財団法人道路新産業開発機構の創立時以来道路計画に携わり、道路との街づくりや ITS 等の交通システムの事業推進に従事。主なプロジェクトは、ETC 施策、駐車場整備、日本橋における都市再生プロジェクト、地方部における自動運転サービスなど。技術士の資格を持つ。2021 年 4 月より現職。

⑷ 年次学術講演会　　オンライン開催

9 月 9 日（木）　9:30～10:50、11:10～12:30、13:00～14:20、14:40～16:00、16:20～17:40
9 月 10 日（金）　9:30～10:50、11:10～12:30、13:00～14:20、14:40～16:00、16:20～17:40

⑸ 研究討論会　　オンライン開催

9 月 6 日（月）　10:00～12:00、13:00～15:00、15:30～17:30
9 月 7 日（火）　10:00～12:00、13:00～15:00、15:30～17:30

⑹ International Program（国際関連行事）　　オンライン開催

JSCE Annual Meeting International Program focuses on current issues and challenges facing the civil engineering profession. Please take this opportunity to share ideas and opinions with engineering professionals from around the world.

国際関連行事では、国内外の土木技術者や研究者を招きディスカッション、ワークショップ、レセプション等を行います。ぜひこの機会に国内外の技術者、研究者、若手技術者と情報交換やネットワークを広げてください。皆様のご参加をお待ちしております。＊国際関連行事では、基本。英語を使用言語としております。実施形式についてオンライン形式を予定しております。

〇 Venues: Tokai University Shonan Campus and others　← 担当班に確認中
（会場：東海大学湘南キャンパス、他）

1. International Roundtable Meeting　（国際ラウンドテーブルミーティング）

Theme：“Changing Society and Future Infrastructure”
「時代の変化とインフラの未来」（仮題）」

Date：September 8 (Wed.)

Time：16:00～18:00

Venue：Tokai University Shonan Campus and others　＊ZOOM 利用　← 担当班に確認中
（会場：東海大学湘南キャンパス、他）

2. The 23rd International Summer Symposium（第 23 回インターナショナルサマーシンポジウム）

Date：TBA　（調整中）

Time：TBA　（調整中）

Venue：Tokai University Shonan Campus and others　＊ZOOM 利用　← 担当班に確認中

3. International Workshop for Young Civil Engineers (国際若手技術者ワークショップ)

Theme：“Utilization of AI in Civil Engineering for a Future Society”

「未来社会のための土木分野 AI 活用ワークショップ」

Date：TBA　（調整中）

Time：TBA　（調整中）

Venue：Tokai University Shonan Campus and others　＊ZOOM 利用

← 担当班に確認中

4. IAC Networking Reception（IAC ネットワーキングレセプション）

Date：TBA　（調整中）

Time：TBA　（調整中）

＊ZOOM 利用

For further details, please visit the JSCE IAC website : http://committees.jsce.or.jp/kokusai/

詳細については、土木学会国際センターのホームページをご覧ください。

(7) 「ドボクのラジオ × 土木学会 tv」スペシャル番組（広報関連行事）

土木学会提供のラジオ番組「ドボクのラジオ（ドボラジ）」(中央エフエム／毎週水曜 20 時（再放送：日曜 12 時)）と、今年の 3 月よりスタートした土木学会の独自メディア「土木学会 tv」とのコラボ企画。全国からスペシャルなゲストに出演いただいてのトーク番組です。是非、ご視聴ください。

【日時】2021 年 9 月 6 日（月）～8 日（水）12 時スタート

※1 回あたり 30 分程度を予定

【会場】オンライン配信（放送後はアーカイブ化）

【視聴】無料

【主催】土木学会　土木広報センター

(8) オンライン見学会

開催日時、見学先等の詳細は、後日、全国大会のホームページに掲載いたします。

(9) パネル展示

展示日時、場所等の詳細は、後日、全国大会のホームページに掲載いたします。

(10) その他

例年開催しております「交流会」および「映画会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は中止とさせていただきます。

年次学術講演会講演要領

講演発表会の進め方

学術講演会は、9月9日（木），10日（金）の2日間で実施します。実施形態は、オンライン形式（ライブ）を予定しています。発表方法等の詳細は、後日、全国大会ホームページでお知らせします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰制度について

全国大会年次学術講演会の発表者を対象に「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」を実施しております。この「表彰規定」は、将来の土木界を担っていく若手の研究者および技術者の論文内容や講演技術が向上し、さらに全国大会が活性化することを目的とし定めたものです。
今回講演される若手研究者、技術者の方々のご健闘を期待いたします。

土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰規定

この規定は土木学会全国大会における研究発表の表彰に関する取り扱いについて定めたものである。

1. 表彰の目的
土木学会全国大会で優れた講演を行った若手研究者、技術者を表彰し、
① 論文内容、講演技術の向上に寄与する。
② 若手研究者、技術者の参加意欲の向上を図る。
③ 全国大会全体の活性化に貢献する。
などを目的とする。

2. 名称
この表彰の名称は「土木学会年次学術講演会優秀講演者表彰」とする。

3. 対象者
・全国大会で実際に講演を行う個人会員の中で、40 歳以下の研究者、技術者を対象に、論文内容に加え、講演が簡潔明瞭で優れたものに与える。
・講演予定者と講演者が一致しない場合は、審査の対象外とする。
・ポスターセッションは対象外とする。

4. 選出方法
・各セッションの座長(司会者)は、対象者の講演を「土木学会年次学術講演会優秀講演者採点表記入上の留意事項」に基づき採点し、合計得点最上位者 1 名を推薦する。
・本部事務局(全国大会実行委員会事務局)にて、部門ごとに各セッションからの被推薦者の合計得点を集計する。その中から、各部門セッション数の 2 分の 1 の人数となる合計得点の上位者を、優秀講演者として選出する。なお、ボーダーラインにある合計得点数が同じ被推薦者を全て含めた場合に、各部門セッション数の 2 分の 1 の人数を超えるときには、合計得点が同じ被推薦者の中から年齢の若い順番に選出し、2 分の 1 を超えない人数に調整する。

5. 表彰
・土木学会全国大会報告号において氏名を発表する。
・後日、個人あてに表彰状を送付する。
・表彰は全国大会実行委員会講演部会長と全国大会委員会委員長の連名で行う。

6. その他
・この規定は、1995 年度全国大会から施行する。
・本規定は必要に応じて全国大会委員会において見直す。

附則(平成 7 年 3 月 24 日理事会了承)
(平成 8 年 6 月 18 日一部改正)

土木学会全国大会　基調講演･特別講演等開催形式について

実行委員長挨拶、基調講演、特別講演会、全体討論会の開催イメージ【会場以外の写真は中部大会のもの】

観客は事務局などの関係者のみ

通路等に配信中継機材を設置(想定)

会場：２号館

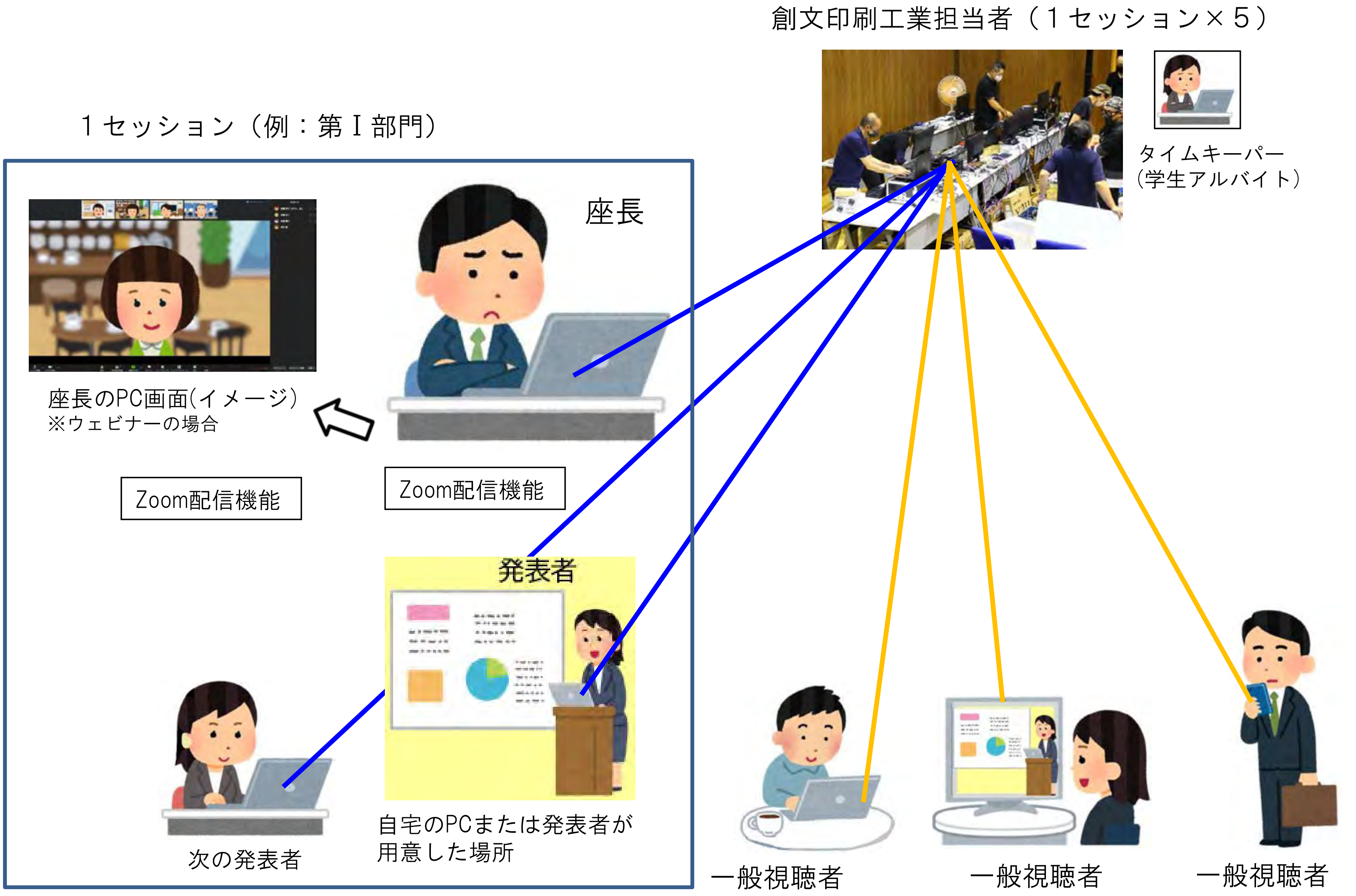
①実行委員長挨拶

②基調講演

③全体討論会

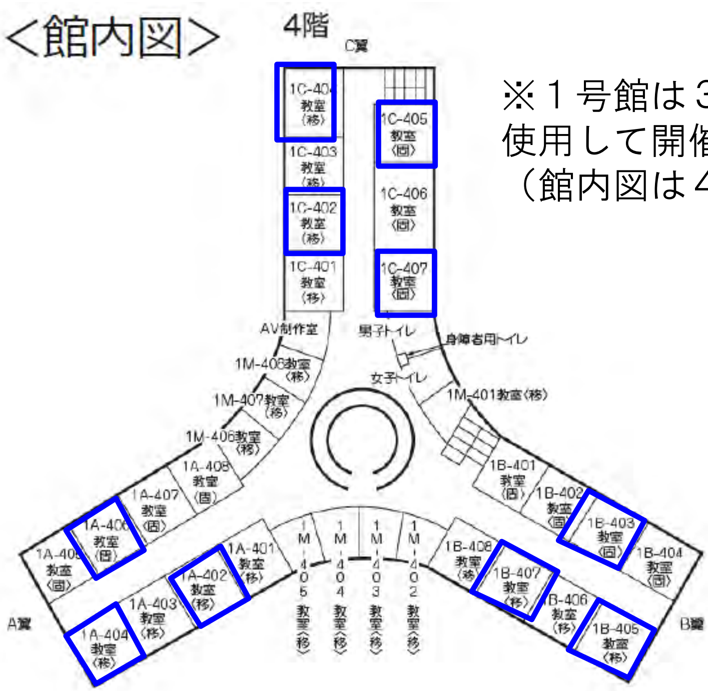
土木学会全国大会　年次学術講演会開催形式について

年次学術講演会における開催場所・配信イメージ



土木学会全国大会　年次学術講演会開催形式について

年次学術講演会における開催場所・配信イメージ



※１号館は３Fを使用して開催。（館内図は４F）

3Fの約１０部屋を使用して学術講演会を運営（１０部屋の詳細は今後決定）

※各部屋での運営状況(イメージ、写真は昨年のもの)

創文印刷工業(株)の担当者が５セッション／人で監理。

土木学会
インフラパートナー制度

インフラパートナー
JSCE 土木学会

https://infrapartner.jsce.or.jp

1）「JSCEの新たなパートナー展開』の検討

【家田会長の就任挨拶】

『JSCE2020』着実な実施に向けての　５つのポイント

第一「大災害への的確な対応と社会への発信」
第二「東日本大震災復興10年の総括と次なる大災害への備え」
第三「海外インフラ展開の戦略的推進」
第四「インフラメンテナンスへの戦略的取組」

第五は、「JSCEの新たなパートナー展開」です。本来、インフラや国土の整備・マネジメントは、施設管理のサイドに立つ者と、インフラや国土そして私たちの仕事に関心を寄せ様々な協働活動をされている人たちの密接な協力があって初めて充実するものです。また、インフラメンテナンスなどの業務は地方公共団体など公共セクターの技術者や地方の民間企業などが主な担い手です。
そういった方々や団体を土木学会のパートナーと位置づけ、より緊密な協力体制がとれるよう制度的充実を進めます。

2） 国土・インフラに係る「パートナー」との連携・協力制度のイメージ

目　的

『市民協働活動*』を行う団体、つまり、国土やインフラ保全、地域づくり、人材育成などを目指し活動している市民グループ等を「パートナー」と位置付け、土木学会として連携・協力し、インフラ関連の活動の活性化、また、地域のインフラの質的向上を図る取組み。

＊行政、国土・インフラ管理者などと一緒になってインフラに関わっていく活動。

制度のイメージ

土木学会 ⇔ パートナーシップ協定 ⇔ インフラパートナー※

※良質な国土・インフラの維持・発展を目的・理念に掲げるような市民グループ等。

【土木学会が連携・協力できる内容例）】

- インフラパートナー開催イベントへの参加及び後援・広報
- インフラパートナー活動を学会広報メディア（Web、SNS、学会誌等）により対外的に発信
- 本部委員会、支部及び他団体との交流・情報交換の場の提供など

【インフラパートナーが連携できる内容例）】

- 学会のイベントへの参加・PR
- 地域インフラ改善のための提案
- 本部委員会・支部との交流など

3）土木学会インフラパートナー協定(合意書)の締結

- 「土木学会」と「インフラパートナー」とで基本的な連携・協力事項について「**合意書**」締結

インフラパートナー　合意書

●●●「以下、「■■■」という」と公益社団法人土木学会（以下、「土木学会」という）は、お互いを「インフラパートナー」と位置付け、国土保全・インフラマネジメントに携わる同士が連携することにより、地域インフラの質的向上を図るとともに、その関連活動を楽しみ推進することを目的に、下記の通り合意した。

記

【連携内容】　・双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
・双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
・その他、本合意の目的に沿うこと

【確認事項】　・双方は相互の独立した活動を尊重する
・相互に経費負担の義務を負うものではない
・各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
・第３者と連携・協力することを相互に妨げない
・連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
・合意期間は１年、その後自動更新とし解約予定日の１か月前に通知する

【その他】　・疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
・具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

2021年　月　日

NPO法人　〇〇〇〇　代表　■■ ■■

公益社団法人土木学会　会長　家田 仁

公益社団法人土木学会〇〇支部　支部長　■■ ■■

合意書サンプル

【連携内容】
・双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
・双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
・その他、本合意の目的に沿うこと

【確認事項】
・双方は相互の独立した活動を尊重する
・相互に経費負担の義務を負うものではない
・各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
・第3者と連携・協力することを相互に妨げない
・連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
・合意期間は1年、その後自動更新とし解約予定日の1か月前に通知する

【その他】
・疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
・具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

3者で締結
①インフラパートナー
②土木学会 会長
③土木学会 支部 支部長

4）土木学会インフラパートナー制度　対象団体一覧

第一陣
パートナーシップ締結
全16団体

Ｎｏ	所管支部	団 体 名	所在	活動内容
1	北海道	一社）シーニックバイウェイ支援センター	北海道 札幌市	みちをきっかけに地域住民と行政とが連携し、地域資源の保全・改善を進め、美しい景観づくり、魅力ある観光空間づくり、活力ある地域づくりを図る。
2	北海道	NPO法人 ほっかいどう学推進フォーラム	北海道 札幌市	行政、学校、地域、企業との連携により地域の魅力を高め、地域つくりを推進。
3	東北	NPO法人 青森ITSクラブ	青森県 青森市	新しい道路交通システム（IntelligentTransport Systems、以下 ITS）関連事業の実施を通じ、国民の生活向上並びに経済、産業の発展に寄与。2001年10月発足。
4	東北	みんなで守る。橋のメンテナンスネット	福島県 郡山市	村民、役場、学生、建設業の４者が協働で行う取り組み。「道づくり」「橋守」「簡易橋梁点検」等　（日本大学　岩城先生）
5	東北	庄内・社会基盤技術フォーラム	山形県 酒田市	庄内地方所在の「産・官・学」で組織。技術者の資質向上を図るとともに、他地域に対し意見・情報を広く発信　平成11年3月設立
6	関東	NPO法人 シビルNPO連携プラットフォーム（CNCP）	東京都 千代田区	「土木と市民社会をつなぐ」と土木社会が積極的に社会的な課題解決に関わっていくことをミッションとする。
7	関東	NPO法人 国境なき技師団	東京都 新宿区	自然災害により被害を受けた人々と地域を技術者の立場から支援。
8	中部	NPO法人 グランドワーク三島	静岡県 三島市	市民、NPO、行政・企業の地域協働により水辺環境改善、公園づくりに取り組む。
9	中部	北陸インフラ総合連絡会議	富山県 石川県 福井県	北陸３県（富山・石川・福井）においてインフラメンテナンスの取組みを行う組織に対し「プラットフォーム」としての役割を果たすことを目指す。
10	中部	NPO法人 神岡・町づくりネットワーク	岐阜県	2004年、旧神岡鉄道(全長19.9ｋｍ：全線の6割がトンネルと鉄橋)が廃線となり、鉄道遺産の活用ということで、レールマウンテンバイクを走らせ町づくり、地域を活性化。
11	関西	シビル・ベテランズ＆ボランティアズ（CVV）	関西圏	1999年1月発足。土木技術者OBを中心に、過去の活動の変遷を経て、ここ数年は行政・企業技術者支援、学生・生徒教育 支援、社会基盤施設・土木遺産調査に努め、またＨＰを改訂して情報発信を重視している。
12	関西	NPO法人 あすの夢土木	大阪府 大阪市	あすの夢土木は、建設技術者を「夢の持てる職業」にし、社会資本の実情を知ってもらい、理解を深めてもらうために設立。　平成２６年９ 設立。
13	中国	しゅうニャン橋守隊	山口県 周南市	産官学（徳山高専）市民が参加。橋を主に、土木インフラの大切さを共有するための活動。
14	四国	かがわ里海大学協議会	香川県	里海づくりに求められる人材育成を目的とした「学びと交流の場」で、平成28年４月に香川県と香川大学が共同で開校。
15	西部	噂の土木応援チーム デミ-とマツ	長崎県 福岡県	日本の土木の役割や大切さを子供たちに伝えるために、土木技術者2人(長崎大・民間コンサル会社)で、2016年結成。
16	西部	道守養成ユニットの会	長崎県	長崎大学が長崎県と連携し、道路維持管理に関する、「道守補助員」、「道守補」、「特定道守」、「道守」養成プロジェクト。

5）Webサイトの開設

■サイトURL：https://infrapartner.jsce.or.jp

専用のWebサイトを開設。サイトを随時更新し、各パートナー団体を紹介していく。

インフラパートナー 合意書

NPO法人国境なき技師団と公益社団法人土木学会（以下、「土木学会」という）は、お互いを「インフラパートナー」と位置付け、国土保全・インフラマネジメントに携わる同士が連携することにより、地域インフラの質的向上を図るとともに、その関連活動を楽しみ推進することを目的に、下記の通り合意した。

記

【連携内容】
- 双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
- 双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
- その他、本合意の目的に沿うこと

【確認事項】
- 双方は相互の独立した活動を尊重する
- 相互に経費負担の義務を負うものではない
- 各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
- 第3者と連携・協力することを相互に妨げない
- 連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
- 合意期間は1年、その後自動更新とし解約予定日の1か月前に通知する

【その他】
- 疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
- 具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

2021年3月　　日

NPO法人国境なき技師団　　代表　秋山　充良

公益社団法人土木学会　　会長　家田　仁

公益社団法人土木学会関東支部　　支部長　樫山　和男

インフラパートナー 合意書

特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム「以下、「CNCP」という」と公益社団法人土木学会（以下、「土木学会」という）は、お互いを「インフラパートナー」と位置付け、国土保全・インフラマネジメントに携わる同士が連携することにより、地域インフラの質的向上を図るとともに、その関連活動を楽しみ推進することを目的に、下記の通り合意した。

記

【連携内容】
- 双方の活動の広報に関すること（イベントの案内・後援等）
- 双方の活動に資する情報交換に関すること（他団体交流等）
- その他、本合意の目的に沿うこと

【確認事項】
- 双方は相互の独立した活動を尊重する
- 相互に経費負担の義務を負うものではない
- 各行事については主催者が安全を始めその責務を負う
- 第３者と連携・協力することを相互に妨げない
- 連携にあたり知り得た相手方の情報の取り扱いについては留意する
- 合意期間は１年、その後自動更新とし解約予定日の１か月前に通知する

【その他】
- 疑義及び変更の必要が生じた場合には、別途協議する
- 具体的な実施内容については、双方合意の上決定する

2021 年 2 月 24 日

特定非営利活動法人シビル NPO 連携プラットフォーム
代表理事　山本　卓朗

公益社団法人土木学会　会長　家田　仁

公益社団法人土木学会関東支部　支部長　樫山　和男

土木学会関東支部山梨会規則

モデル規則	改　定
土木学会〇〇支部△△会会則	土木学会関東支部山梨会会則
（名称） 第１条 本会は、土木学会〇〇支部△△会（以下「本会」という。）と称する。	（名称） 第１条 本会は、土木学会関東支部山梨会（以下「本会」という。）と称する。
（事務所） 第２条 本会の事務所は、〇〇に置く。	（事務所） 第２条 本会の事務所は、甲府市武田4丁目３－１１　山梨大学工学部土木環境工学科に置く。
（目的） 第３条 本会は、〇〇〇に関する活動（事業）を行うことにより、〇〇〇することを目的とする。	（目的） 第３条本会は、山梨県に在住又は勤務する土木技術者（土木関係業務に従事する者）の親睦交流を通じて、土木工学及び土木事業の発展に寄与するとともに土木学会についての意識を高め、その活動に貢献することを目的とする。
（事業） 第４条 本会は前条の目的を達成するために、次の活動（事業）を実施する。 （１）〇〇〇 （２）〇〇〇 （３）その他本会の目的を達成するために必要な事項	（事業） 第４条 本会は前条の目的を達成するために、次の活動（事業）を実施する。 （１）土木事業に関する検討会・研究発表会等。 （２）土木工学に関する研究発表会、講演会等の開催及び見学、視察等。 （３）土木学会活動・地方への普及・広報並びに会員間の親睦に寄与する行事。 （４）その他本会の目的達成のため必要な事業。
（会員の資格） 第５条 本会の会員は、次の〇種類とする。 （１）正会員は、本会の目的に賛同し、入会登録を行った者とする。 （２）学生会員は、・・・・。 （３）賛助会員は、この会の事業を賛助するために入会登録を行った者とする。 （４）特別会員は、・・・・。	（会員の資格） 第５条 本会の会員は、次の２種類とする。 （１）正会員は、山梨県内に在住するか又は勤務する土木技術者。 （２）学生会員は、山梨県内の土木工学の課程を習得中の学生。
（入会） 第６条 会員として入会しようとする者は、別に定める入会申込書に必要事項を記入提出し、〇〇 *（←幹事会など）* の承認を得なければならない。	（入会） 第６条 会員として入会しようとする者は、別に定める入会申込書に必要事項を記入提出し、幹事会の承認を得なければならない。
（会費） 第7条 会員は、次に定める会費を納入しなければならない。	（会費） 第7条 会員は、次に定める会費を納入しなければならない。

2 会費は次の各号に掲げるとおりとする。 （１）正会員 〇〇〇円 （２）学生会員 〇〇〇円 （３）賛助会員 〇〇〇円 （４）特別会員 〇〇〇円	（１）正会員　無料 （２）学生会員　無料
（退会） 第８条 会員は、退会届を提出し、〇〇 *（←幹事会など）* の承認を得なければならない。 2 会員が、次の各号のいずれかに該当する時は、退会したものとみなす。 （１）本人が死亡したとき （２）会費を〇年以上納入しないとき	（退会） 第８条 会員は、退会届を提出し、幹事会の承認を得なければならない。 2 会員が、次の各号のいずれかに該当する時は、退会したものとみなす。 （１）本人が死亡したとき （２）会費は無料であるため、未納の場合の措置についてはこれを定めない
（役員） 第９条 本会に次の役員を置く。 （１）会長 1名 （２）副会長 ●名 （３）幹事長 1名 （４）幹事 若干名 （５）会計監事 2名	（役員） 第９条 本会に次の役員を置く。 （１）顧問 若干名 （２）幹事長 １名 （３）幹事 若干名 （４）副幹事 若干名 （５）会計監事 2名 （６）当番幹事 2名
（役員の職務） 第10条 会長は、会務を総理し、その業務を統括する。 2 副会長は、会長を補佐し、会長が不在のときは、その職務を代行する。 3 幹事長、幹事は総会の決議に基づき、会の業務を執行する。 4 会計監事は本会の会計監査を行う。	（役員の職務） 第10条 役員の職務は次の通りとする。 1　幹事長は幹事会を開き会の運営に当たる。 2　幹事長は、~~総会および~~幹事会の議長になる。 3　副幹事は幹事に事故あるとき、その職場の幹事を代行する。 4　顧問は幹事会の諮問に応ずる。 5　当番幹事は幹事会の議決に基づき会の業務を執行する。 6　会計監事は本会の会計監査を行う。
（役員の選任） 第11条 役員の選任方法は、次のとおりとする。 1 会長、副会長は本会に所属する正会員の中から幹事会が推薦し、総会で選任する。 2 幹事は会長が委嘱する。 3 幹事長は幹事会の互選により選任する。 4 会計監事は本会に所属する正会員の中から役員会が選任する。	（役員の選任） 第11条 役員の選任方法は、次のとおりとする。 1　顧問は幹事会で推薦されたもの。 2　幹事・副幹事は別途分類による職場の互選により選任されたもの。 3　幹事長は幹事会の互選により選任する。また、幹事長は幹事の中から当番幹事を任命できる。 4　会計監事は本会の会員の中から幹事会が選任する。
（役員の任期） 第12条 役員の任期は､〇〇年とする。ただし、再任を妨げない。	（役員の任期） 第12条 役員の任期は､2年とする。ただし、再任を妨げない。

（役員の解任） 第13条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、〇〇の議決により、これを解任することができる。 （１）心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。 （２）その他解任に相当する事項が認められるとき。	（役員の解任） 第13条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、幹事会の議決により、これを解任することができる。 （１）心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。 （２）その他解任に相当する事項が認められるとき。
（総会） 第１4条 本会の総会は、正会員を持って構成し、毎年〇回開催するものとする。但し、必要があるときは、臨時に総会を開催することができる。 ２ 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。 （１）会則、事業等の改廃 （２）事業計画並びに収支予算及び決算 （３）本会の解散 （４）役員の選任及び解任 （５）その他本会の運営に関し重要な事項 ２ 総会の議長は、会長がこれに当たる。 ３ 総会は、正会員の２分の１以上の出席で成立し、出席者の過半数で決議する。	（総会） 第14条 本会の総会は、~~正~~会員を持って構成し、毎年1回開催するものとする。但し、必要があるときは、臨時に総会を開催することができる。 ２ 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。 （１）会則、事業等の改廃 （２）事業計画並びに収支予算及び決算 （３）本会の解散 （４）役員の選任及び解任 （５）その他本会の運営に関し重要な事項 ~~２~~ ３総会の議長は、幹事長がこれに当たる。 ４ 総会は、役員の３分の２以上の出席で成立し、出席者の過半数で決議する。
（会議） 第１5条 会議は総会及び幹事会とし、総会は会長が招集し、幹事会は幹事長が招集する。 ２ 幹事会は、総会の議決した事項の執行に関する事項及びその他総会の議決を要しない業務の執行に関し、議決する。	（会議） 第15条 会議は総会及び幹事会とし、総会は幹事長が招集し、幹事会は幹事長が招集する。 ２ 幹事会は、総会の議決した事項の執行に関する事項及びその他総会の議決を要しない業務の執行に関し、議決する。
（事業報告書及び決算） 第１6条 会長は、毎事業年度終了後〇ヵ月以内に事業報告書、収支計算書を作成し、監査を経て総会の承認を得なければならない。	（事業報告書及び決算） 第16条 幹事長は、毎事業年度終了後1ヵ月以内に事業報告書、収支計算書を作成し、監査を経て総会の承認を得なければならない。
（事業年度） 第１7条 この会の事業年度は、〇月〇日から翌年の〇月〇日までとする。	（事業年度） 第17条 この会の事業年度は、４月１日から翌年の３月３１日までとする。
（事務局） 第１8条 本会の事務局は、〇〇〇に置く。	（事務局） 第18条 本会の事務局は、第２条の事務所に置く。
（会計） 第１9条 本会の経費は、〇〇、〇〇、〇〇をもって充てる。 ２ 本会の会計年度は、〇月〇日から翌年の〇月〇日までとする。 ３ 前項の会計年度に係る決算終了後、監査を経て、総会を招集し決算報告する。 ４ 本会は、会員に対して１年に１回以上の会計報告を行う。	（会計） 第19条 本会の経費は~~会費~~関東支部からの交付金~~、援助金~~及び寄付金による。 ２ 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。 ３ 前項の会計年度に係る決算終了後、監査を経て、関東支部幹事長へ報告し、総会を招集し決算報告する。

（会員資格の抹消（除名））	（会員資格の抹消（除名））
第20 条 本会会員が次の各号に該当することになった場合は、〇〇会の議決を経て登録を抹消（除名）することができる。 （１）会員との連絡が取れなくなった場合。 （２）会費を1年以上滞納したとき。 （３）会員としてふさわしくないと認められる事実が発生した場合。	第20 条 本会会員が次の各号に該当することになった場合は、幹事会の議決を経て登録を抹消（除名）することができる。 （１）会員との連絡が取れなくなった場合。 （２）会員としてふさわしくないと認められる事実が発生した場合。
（会則の変更）	（会則の変更）
第21条 この会則の改正は、総会の議決を経て、支部商議員会の承認を得なければならない。	第21条 この会則の改正は、総会の議決を経て、関東支部商議員会の承認を得なければならない。
（その他）	（その他）
第22条 この会則に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。 付 則 1 この会則は、平成〇〇年〇〇月〇〇日から施行する。	第22条 本会は土木学会定款、規則及び関東支部規定を参考に活動を行う。 付 則 1 この会則は、令和3年1月14日から施行する。

土木学会関東支部山梨会会則

（名称）

第１条 本会は、土木学会関東支部山梨会（以下「本会」という。）と称する。

（事務所）

第２条 本会の事務所は、甲府市武田４丁目３－１１　山梨大学工学部土木環境工学科に置く。

（目的）

第３条 本会は、山梨県に在住又は勤務する土木技術者（土木関係業務に従事する者）の親睦交流を通じて、土木工学及び土木事業の発展に寄与するとともに土木学会についての意識を高め、その活動に貢献することを目的とする。

（事業）

第４条 本会は前条の目的を達成するために、次の活動（事業）を実施する。

（１）土木事業に関する検討会・研究発表会等。

（２）土木工学に関する研究発表会、講演会等の開催及び見学、視察等。

（３）土木学会活動・地方への普及・広報並びに会員間の親睦に寄与する行事。

（４）その他本会の目的を達成するために必要な事業。

（会員の資格）

第５条 本会の会員は、次の２種類とする。

（１）正会員は、山梨県内に在住するか又は勤務する土木技術者。

（２）学生会員は、山梨県内の土木工学の課程を習得中の学生。

（入会）

第６条 会員として入会しようとする者は、別に定める入会申込書に必要事項を記入提出し、幹事会の承認を得なければならない。

（会費）

第７条 会員は、次に定める会費を納入しなければならない。

（１）正会員　　　無料

（２）学生会員　　無料

（退会）

第８条 会員は、退会届を提出し、幹事会の承認を得なければならない。

２ 会員が、次の各号のいずれかに該当する時は、退会したものとみなす。

（１）本人が死亡したとき。

（２）会費は無料であるため、未納の場合の措置についてはこれを定めない。

（役員）
第９条 本会に次の役員を置く。

（１）顧問　　　若干名
（２）幹事長　　　１名
（３）幹事　　　若干名
（４）副幹事　　若干名
（５）会計監事　　２名
（６）当番幹事　　２名

（役員の職務）
第 10 条 役員の職務は次の通りとする。

1 幹事長は幹事会を開き、会の運営に当たる。
2 幹事長は幹事会の議長になる。
3 副幹事は幹事に事故あるとき、その職場の幹事を代行する。
4 顧問は幹事会の諮問に応ずる。
5 当番幹事は幹事会の議決に基づき、会の業務を執行する。
6 会計監事は本会の会計監査を行う。

（役員の選任）
第 11 条 役員の選任方法は、次のとおりとする。

1 顧問は幹事会で推薦されたもの。
2 幹事・副幹事は別途分類による職場の互選により選任されたもの。
3 幹事長は幹事会の互選により選任する。また、幹事長は幹事の中から当番幹事を任命できる。
4 会計監事は本会の会員の中から幹事会が選任する。

（役員の任期）
第 12 条 役員の任期は､２年とする。ただし、再任を妨げない。

（役員の解任）
第 13 条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、幹事会の議決により、これを解任することができる。

（１）心身の故障により、職務の執行に耐えられないと認められるとき。
（２）その他解任に相当する事項が認められるとき。

（総会）
第 14 条 本会の総会は、会員を持って構成し、毎年１回開催するものとする。但し、必要があるときは、臨時に総会を開催することができる。

2 総会は、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。

（１）会則、事業等の改廃
（２）事業計画並びに収支予算及び決算

（３）本会の解散
（４）役員の選任及び解任
（５）その他本会の運営に関し重要な事項
3 総会の議長は、幹事長がこれに当たる。
4 総会は、役員の３分の２以上の出席で成立し、出席者の過半数で決議する。

（会議）
第 15 条 会議は総会及び幹事会とし、総会は幹事長が招集し、幹事会は幹事長が招集する。
2 幹事会は、総会の議決した事項の執行に関する事項及びその他総会の議決を要しない業務の執行に関し、議決する。

（事業報告書及び決算）
第 16 条 幹事長は、毎事業年度終了後１ヵ月以内に事業報告書、収支計算書を作成し、監査を経て総会の承認を得なければならない。

（事業年度）
第 17 条 この会の事業年度は、４月１日から翌年の３月３１日までとする。

（事務局）
第 18 条 本会の事務局は、第２条の事務所に置く。

（会計）
第 19 条 本会の経費は、関東支部からの交付金及び寄付金による。
2 本会の会計年度は、４月１日から翌年の３月３１日までとする。
3 前項の会計年度に係る決算終了後、監査を経て、関東支部幹事長へ報告し、総会を招集し決算報告する。

（会員資格の抹消（除名））
第 20 条 本会会員が次の各号に該当することになった場合は、幹事会の議決を経て登録を抹消（除名）することができる。
（１）会員との連絡が取れなくなった場合。
（２）会員としてふさわしくないと認められる事実が発生した場合。

（会則の変更）
第 21 条 この会則の改正は、総会の議決を経て、関東支部商議員会の承認を得なければならない。

（その他）
第 22 条 本会は土木学会定款、規則及び関東支部規定を参考に活動を行う。

付 則

１ この会則は、令和３年１月１４日から施行する。

第22回「土木のある風景」写真コンテスト受賞者

最優秀賞：題名「天空の懸け橋」河内　聡

優秀賞：題名「栄華を偲ぶ」鹿島　和生

優秀賞：題名「伝承の美橋」杵鞭　正芳

佳作：題名「ふたご座流星群 with 宮川橋」森　康宏

佳作：題名「鉄路多交差」佐藤　勉

佳作：題名「堰堤に泳ぐ」小泉　次郎